

取扱説明書

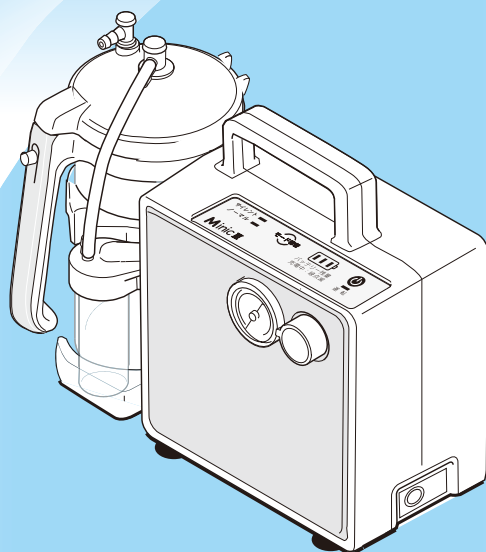
ポータブル吸引器

ミニックⅢ - S (MS 3B)

認証番号：305ADBZX00015000

ミニックⅢ - W (MW 3B)

認証番号：305ADBZX00016000



EMC 適合

もくじ

はじめに.....	2
安全のために	3
使用上の注意	4
各部の名称	10
バッテリーを充電する	12
吸引をする	
1. 準備.....	15
2. 吸引する	18
3. 使用後の取扱い.....	20
4. 在宅での使用後の取扱い.....	24
滅菌・消毒について.....	26
参考資料.....	28
消毒後の処置	
吸引ボトルセットの組立て.....	30
本体との接続	34
使用後の処置とバッテリーの交換	
バッテリーの交換方法.....	35
排気フィルターの清掃	40
本体の清掃	41
保守・点検について	
1. 日常点検	42
2. 定期点検	42
3. 保守点検チェックリスト.....	43
故障かな？と思われたら	44
オプション・交換部品について	46
仕様	54
廃棄について	55
EMC 技術資料.....	56
アフターサービスについて	58



この度は、ポータブル吸引器 ミニックⅢ -S/ ミニックⅢ -W をお買い上げいただきましてありがとうございます。

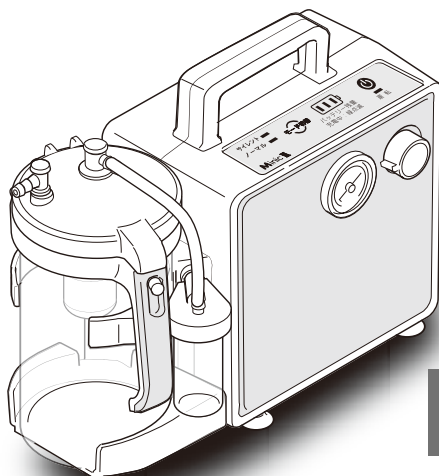
本製品を正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、本書は必要なときにすぐに使えるように、手近な所に大切に保管しておいてください。

はじめに

この度は、ポータブル吸引器 ミニックⅢ -S/ ミニックⅢ - Wをお買い上げいただきましてありがとうございます。

本製品は、3 電源方式 (AC アダプタ・バッテリー・自動車用電源※) でご使用いただける医療用吸引器です。(※はオプション品)

任意の吸引圧力で喀痰吸引を行うことのできる吸引機能を備えています。トラップ管を標準装備し、トラップ管内にフィルターを設けましたので、ミスト状吸引物のポンプ内への浸入を軽減します。



EMC 適合

本製品はEMC 規格 IEC60601-1-2:2014に適合しています。ただし、他の医療機器、電子機器との併用において、相互に影響を生じる場合があります。本書に従って、正しい取扱いをしてください。



安全にお使いいただくために

医療機器は、その故障や不具合の発生による医療の中断が、患者さんの命に直接的および間接的にかかわる場合があります。

必ず使用前の日常点検、3 ヶ月に 1 度の保守点検（ユーザー点検）を行ってください。また、2 年に 1 度の製造販売元または医療機器修理業者による定期点検（メーカー点検）をお受けください。（定期点検は有料となります）

安全のために

安全のための注意をお守りください。

この取扱説明書には安全にご使用いただくための重要な注意事項が掲載されております。

ご使用になる前に必ずよくお読みください。

警告

機器が正常な作動で使用ができて、この事項をお守りにならない場合は、使用者に重篤な危険状態や機器の不具合が発生する場合があります。

禁忌・禁止

機器の使用目的以外の誤った取り扱いや、ご使用できない患者、疾患、併用できない医療機器や接続機器などについての事項です。この事項をお守りにならない場合は、使用者に重篤な危険状態や機器の不具合が発生する場合があります。

注意

警告または禁忌・禁止以外の、ご使用上のお守り頂きたい注意事項や機器の保管やメンテナンスを行う上での注意についての事項です。この事項をお守りにならない場合には、機器の正常な性能が得られず、医療行為に障害が発生したり、機器の不具合が発生する場合があります。

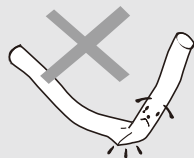
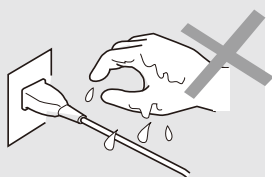
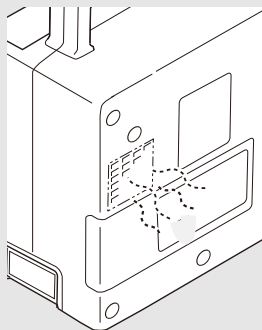


必ず実行していただくことや、守って頂きたいこと。(強制)

使用上の注意

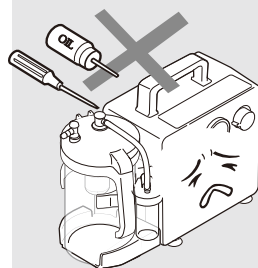
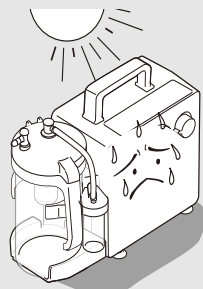
！ 警 告

- 医師または医療従事者の指導により使用してください。
- 本書に従った保守点検を必ず行ってください。
- 吸引物を本体内部に吸い込んだ場合は、内部配管に溜まる危険があるため、必ず製造販売元または医療機器修理業者による点検を受けてください。
- 吸引ホース、吸引ボトルセットは洗浄後必ず滅菌または消毒をしてください。（在宅の場合は必要に応じて、滅菌・消毒をしてください。）
- 本体背面の通気口を塞がないでください。（本器に熱がこもり故障の原因となります）
- 濡れた手で電源コードや電源プラグを触らないでください。感電によるケガをするおそれがあります。
- ホース類が折れ曲がらないように注意してください。
- AC アダプタをコンセント（100V）に接続しているときは、AC アダプタ本体が患者に接触しないようにしてください。
- 消耗品は定期的に交換してください。交換の際は必ず当社純正部品を使用してください。



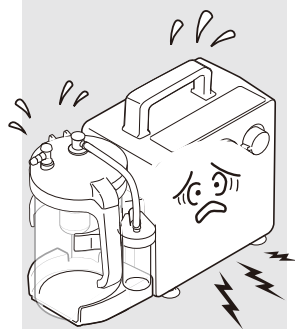
禁忌・禁止

- 本器の使用目的以外の目的（採血用など）では絶対に使用しないでください。
- 規定以上の運転はしないでください。（6 時間まで）規定以上の連続運転をした場合は、発熱等により部品の劣化やにおいが発生することがあります。
- 直射日光の当たる場所、高温・高湿になる場所に設置しないでください。
- 分解・改造はしないでください。
- 本体各部に注油しないでください。



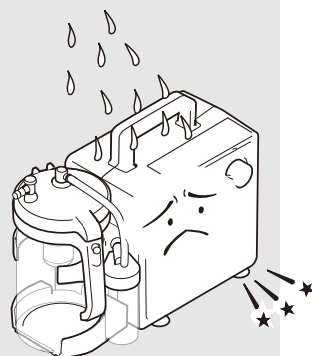
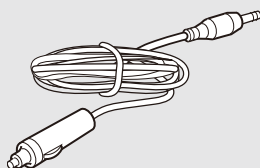
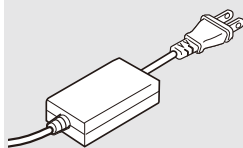
注意

- 使用前に必ず本書を読み、理解してから使用してください。
- 吸引圧力は必ず医師の処方に従い、使用前に吸引圧力の設定が適切であることを確認してください。
- 本器および患者に異常がないことを絶えず監視してください。
- 本器および患者に異常が発見された場合は、機器を止め修理を依頼するなど適切な措置を行ってください。
- 電源の電圧、周波数および許容電流値に注意してください。



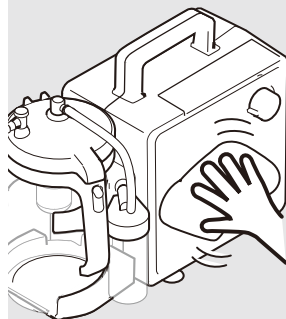
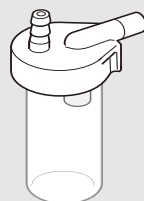
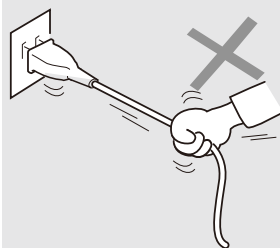
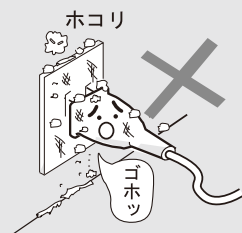
⚠ 注意

- 本製品専用の AC アダプタは国内専用 (AC100V) です。
- 本 AC アダプタを日本国外等 (100V 以外) の交流電源で使用する場合は、市販の変圧器 (150W 以上) で 100V にしてから接続してください。
- 自動車用電源コード (オプション品) を使用する場合は、DC12V の入力電圧で使用してください。大型車等は DC24V の場合があります。
- 自動車で使用する場合は、停車した状態で車内の安定した場所に設置して使用してください。また、車内の換気に注意してエンジンをかけたまま使用してください。(車のバッテリーの消耗を防ぐため)
- 吸引圧力が残ったまま (真空計の針が 0 に戻っていない状態)、運転スイッチを入れないでください。作動しなくなるおそれがあります。
- 吸引ホース、吸引ホース口、吸引ボトルセットは、洗浄・乾燥が不十分だとカビ (黒またはピンク) が発生する可能性があります。ご使用後の洗浄・乾燥は十分に行ってください。
- 電源コードを傷つけないでください。コードの上に物を置かないでください。
- 振動や衝撃を与えず、水平な安定した場所で使用してください。



⚠ 注意

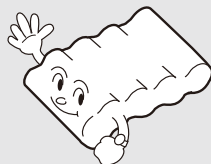
- 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。
- 電源プラグやコンセントに「ほこり」を溜めないように清掃してください。コンセントが熱を持ち、ほこりに引火することがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ずプラグを持って抜いてください。断線やショートにより、感電や火災などの原因となることがあります。
- 本器は電源プラグの抜き差しで電源（商用）から切り離すことができます。電源プラグの抜き差しの妨げになる場所には本器を設置しないでください。
- トラップ管は吸引物が吸引ボトルを通過してしまった場合に、吸引物を溜める場所のため、常に空の状態で使用してください。（消毒剤などを入れないこと）
- 水がかからないように注意してください。
- 吸引物は早めに捨ててください。
- 本器は周囲温度 10 ～ 40℃、相対湿度 30 ～ 75% の環境で使用してください。
- 定期的な清掃や点検をしてください。本器を長く安全にお使いいただくため、また突然の事故等を防ぐためにも、必ず本書に従った日常点検、保守点検（ユーザー点検）および定期点検を行ってください。（42 ページ参照）



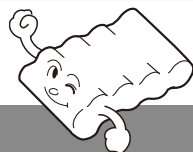
！ 注 意

- 本器を使用しない場合でも、バッテリーを長持ちさせるために6ヶ月に一度の定期的な充電を行ってください。バッテリーが自己放電により完全に放電してしまうと、バッテリーの寿命が短くなり、故障の原因となります。
- 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長期間使用しなかった場合は、点検に出すなど作動上の安全を確認してから使用してください。
- 連続運転(6時間以内)時は、本体内部の温度上昇により安全装置が働き、停止するおそれがあります。連続運転での使用後は十分に冷却してから、再度ご使用ください。
- 本器(付属品・オプション品を含む)を廃棄する場合は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。環境汚染の原因になることがあります。

バッテリー



バッテリーの安全上のご注意



⚠ 警告

- ご購入後、初めてご使用の場合や、長期間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してから使用してください。
- バッテリーの外装チューブをはがしたり、傷つけないでください。
- バッテリーから漏出した液が目に入った場合、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

🚫 禁忌・禁止

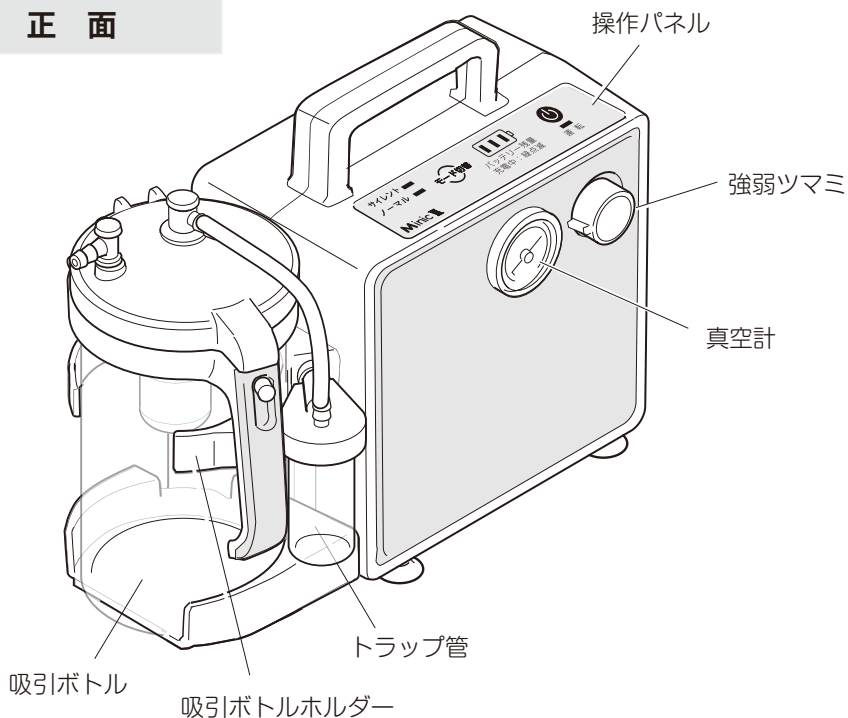
- 本製品以外で使用しないこと。
- 分解・改造しないこと。
- 漏液したり、変色、変形、その他使用時と異なることに気づいた時は使用しないでください。
- 火の中に投入したり加熱しないこと。また、水や海水に浸けたり、濡らさないこと。
- バッテリーの+端子と-端子を針金等の金属で接触させないこと。

⚠ 注意

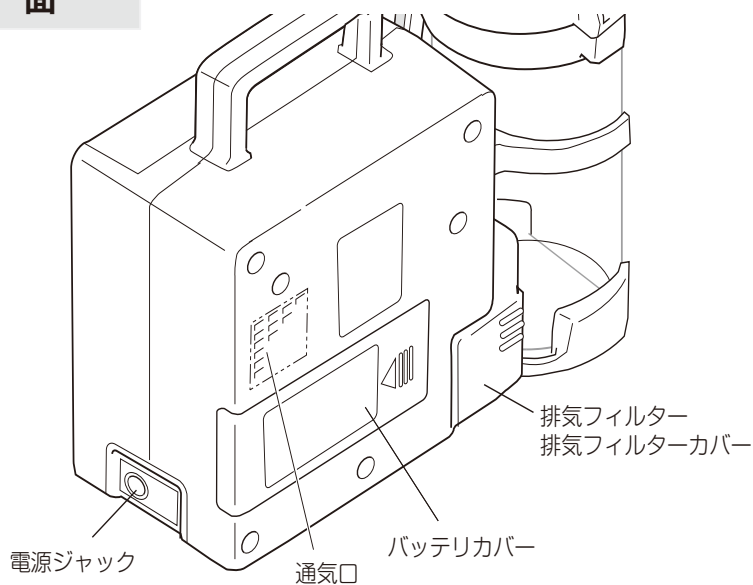
- バッテリーから漏出した液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす場合がありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 直射日光の強い所や炎天下の車内、ストーブの前面などの高温の場所に放置しないでください。
- 乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、本製品を使用の際もバッテリーを取り出さないよう注意してください。
- 本製品専用のバッテリーは、リサイクル対象品です。
(55 ページ「廃棄について」を参照)

各部の名称

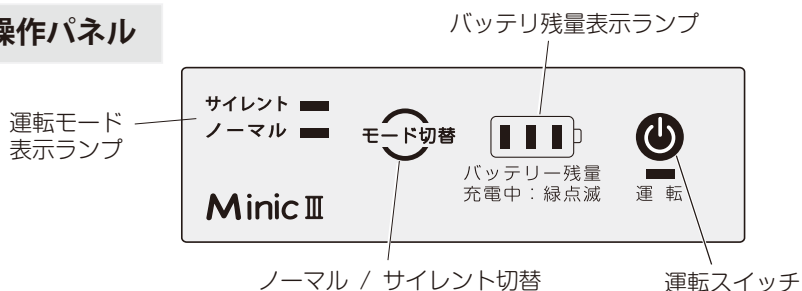
正面



背面

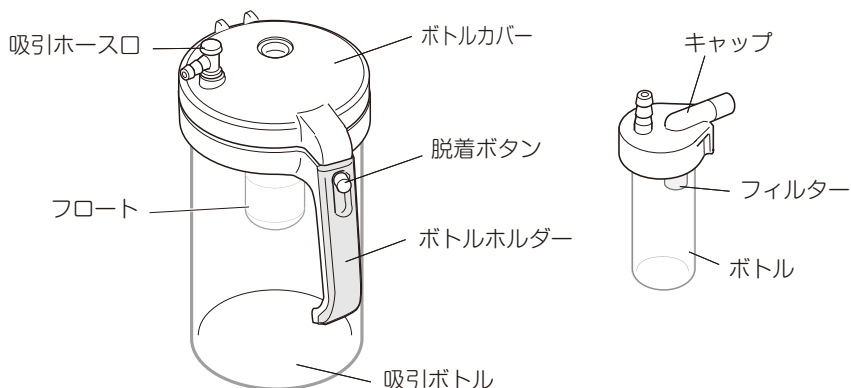


操作パネル



吸引ボトルセット

MS3B は 1L MW3B は 1.4L が
標準付属されています。



トラップ管

標準付属品

ご使用になる前に、付属品の欠品がないかご確認ください。

吸引ホース (アダプター付)	AC アダプタ
 アダプター	
フィルター (予備)	取扱説明書・クイックマニュアル

バッテリーを充電する

本器をはじめてご使用いただく前にバッテリーの充電を行ってください。

また、バッテリー残量が減少した時も充電を行ってください。

バッテリーの充電は、通常付属の AC アダプタを使用して行いますが、オプション品の自動車用電源コードでも行うことができます。

充電時間の目安	充電時間	約 1.5 時間
	充電温度範囲	10 ～ 30℃

⚠ 注意

- AC アダプタ・自動車用電源コードで本器を作動中は、充電はされません。本器が停止すると充電を開始します。
- 上記の充電時間は、AC アダプタで充電した場合の目安となります。自動車用電源コードで充電する場合は上記よりも長時間の充電が必要です。
- バッテリー残量により、満充電になるまでの充電時間は変化します。
- 夏場やストーブの近くなど、気温が高い（30℃以上）場所でバッテリー運転を長時間行くと、バッテリー温度が上昇し、使用直後に充電できない場合があります。バッテリーの温度を下げるために 30 分程度放置して、その後充電してください。

充電方法

1. 本器を安定した場所に置いてください。
本体の作動が停止していることを確認してください。
2. 使用する電源を選ぶ（次ページ参照）
 - AC アダプタで充電する
 - 自動車用電源コードで充電する
3. 正しく接続されて本器に電源が供給されると、バッテリー残量ランプが点滅し、充電を開始します。（約 5 秒経過してから点滅します）

バッテリー残量ランプが 3 本とも点灯になると、満充電状態になったことをお知らせします。
接続した際にバッテリー残量表示ランプが点灯した場合は、バッテリー残量が十分にあり使用可能な状態であることを示します。

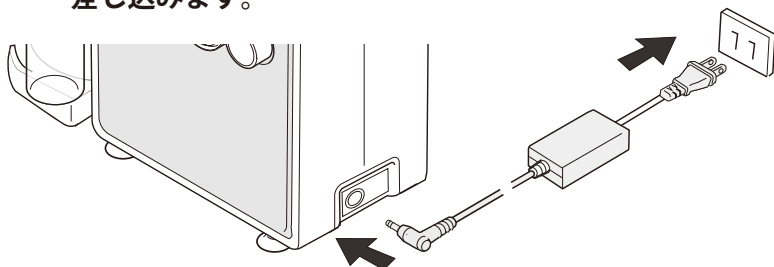


バッテリー残量
充電中：緑点滅

AC アダプタで充電する



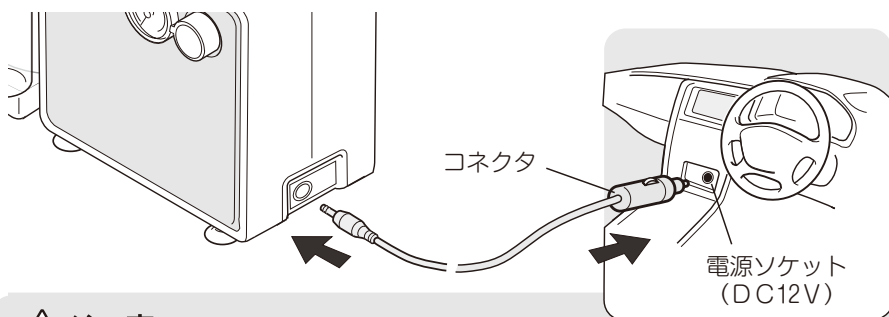
付属の AC アダプタの L 型プラグを本体側面の電源ジャックに差し込みます。電源プラグは電源コンセント (AC100V) に差し込みます。



自動車用電源コード (オプション品) で充電する



自動車用電源コード (オプション品) のプラグを本体側面の電源ジャックに差し込みます。次に自動車のエンジンを始動させ、コネクタを自動車の電源ソケットに差し込みます。



⚠ 注意

- 本器の電源入力は DC12V です。これ以外の電圧では絶対に使用しないでください。故障の原因となります。(大型車等では DC 24V の場合がありますので、ご使用になる前に自動車のバッテリー電圧を確認してください。)
- 停車した状態で、車内の安定した場所に設置して充電してください。
- 本器を充電または使用している時は、自動車のバッテリーあがりを防ぐため、エンジンをかけたままにしてください。
- 車内の換気に十分注意してお使いください。(車内へ排気ガスが入らないよう、周囲の状況にも十分注意してください。)
- 自動車のエンジンを停止したときは、必ず自動車用電源コードのプラグを本器から抜いてください。

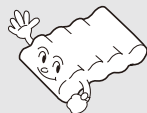
バッテリーを充電する

バッテリーについて

バッテリーは正しい知識で上手にお使いになれば、安定した性能で長持ちさせることができます。本器は充電により繰り返し使用できるニッケル水素電池を内蔵しています。以下の注意事項を守って正しくお使いください。

連続運転時間

MS3B が約 60 分、MW3B は約 40 分の連続使用が可能です。
(無負荷・満充電・ノーマルモード時)



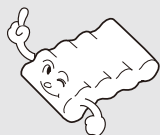
温度の影響

周囲の温度が高い方が使用時間は長くなり、寒冷地では短くなる傾向があります。



保管

使用しない場合でも 6 ヶ月に 1 回の定期的な充電を行ってください。自己放電は温度が高いほど大きくなります。涼しいところで保管してください。



寿命の目安

常温で約 200 回から 500 回の充放電が限度ですが、放電条件や保管条件によりこの回数は変わります。1 時間以上充電して作動させ、10 分程度でポンプの動きが弱くなるか止まってしまったら、バッテリーの蓄積能力が低下した目安になります。安全にご使用いただくため、早めに交換されることをおすすめします。

注：バッテリーでの作動時間・頻度や保管条件により、寿命が大幅に変化する可能性があります。



ワンポイント

バッテリーのリフレッシュ

満充電しても作動時間が短く感じたら、ポンプが停止するまで作動させて、その後充電してください。
これを 1～2 回繰り返すと通常の作動時間に復帰する場合があります。

吸引をする

1. 準備

1 本器を水平な安定した場所に置きます。

各部品が漏れのないように取付けられていることを確認してください。

2 使用する電源を選びます。



AC アダプタで使用する

13 ページに従って AC アダプタを接続してください。



自動車用電源コード (オプション品) で使用する

13 ページに従って自動車用電源コードを接続してください。



バッテリーで使用する

AC アダプタ、自動車用電源コードに接続せずに使用します。
バッテリーで使用した際は、バッテリー残量表示ランプが点灯し、バッテリーの残量の目安をお知らせします。



3個点灯(左：橙 / 中：黄緑 / 右：黄緑)
バッテリー残量は十分にあります。



2個点灯(左：橙 / 中：黄緑)
バッテリー残量が減少しています。



1個点灯(左：橙)
バッテリー残量がもう少しでなくなります。



1個点滅(左：橙)
すぐに充電が必要です。

バッテリー残量が減少すると、バッテリー残量ランプの表示が変化していきます。1 個点滅になりましたら、残りの作動時間が数分ですので、早めの充電を心掛けてください。

バッテリーでの作動時間：MS3B 約 60 分 / MW3B 約 40 分
(無負荷・満充電・ノーマルモード時)

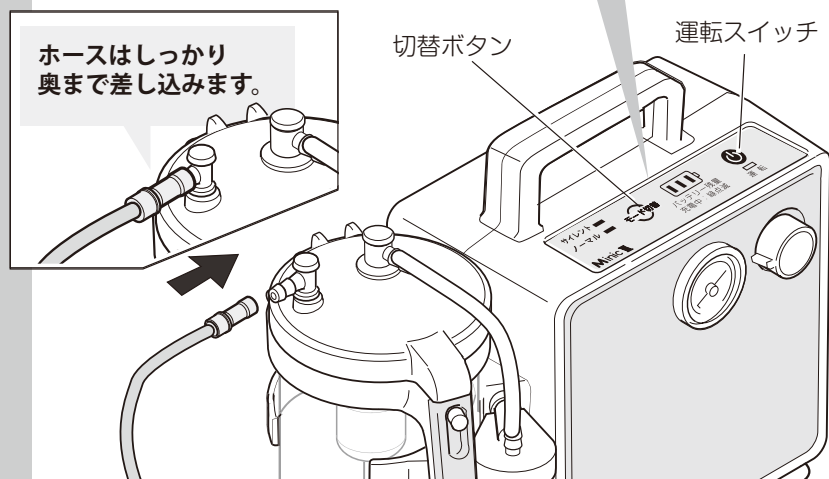
⚠ 注意

- 作動時間はいずれも目安です。ご使用の期間・頻度により、短くなることがあります。
- 本器のバッテリー残量ランプはバッテリーの電圧を感知して点灯、点滅しています。吸引の負荷がある場合は、バッテリー残量ランプが変化することがあります。バッテリー残量の確認は、吸引の負荷がない状態（無負荷運転）で行ってください。
- ACアダプタ・自動車用電源コードを使用し、本器を作動させた際は、バッテリー残量表示ランプは消灯します。

3 吸引ホース口に吸引ホースを取り付けます。この時、吸引ホースはしっかり奥まで差し込みます。その後、運転スイッチを長押しして本器を作動させます。

4 切替ボタンを押し、ノーマルモード / サイレントモードを選びます。

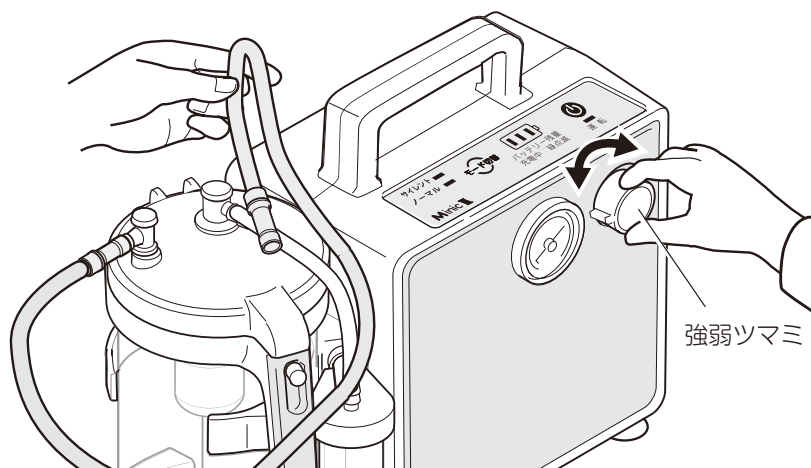
- サイレントモードは静かな運転が必要なときに使用します。



5

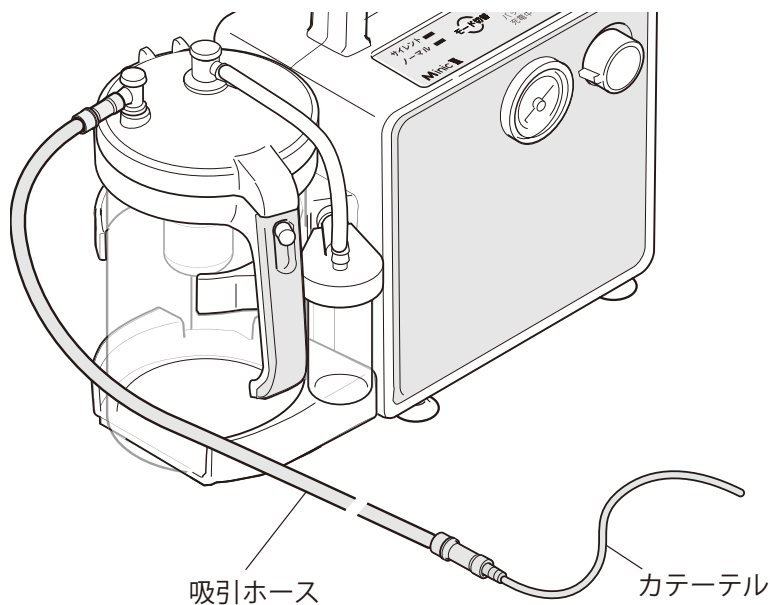
吸引ホースを指で折り曲げ、真空計を見ながら強弱ツマミを回し、必要な圧力（医師の処方した圧力）に調整します。

- 調整が出来たら、一度運転スイッチを長押しし本器を停止させます。



6

吸引ホースにカテーテル（市販品）を接続します。

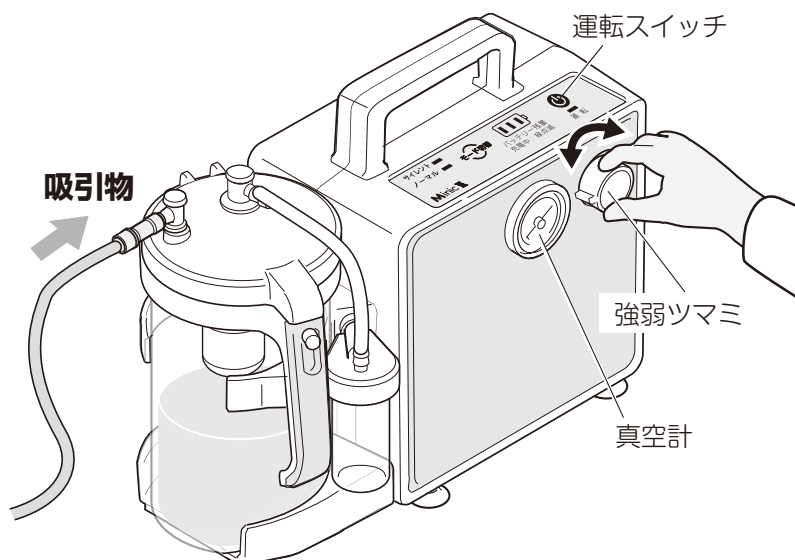


2. 吸引する

- 1 運転スイッチを長押しし、本器を作動させます。
- 2 カテーテルの先端を口腔、咽頭、鼻腔等の処置部へ挿入し、吸引を行います。(吸引方法の詳細は、医師の指示に従ってください。)
 - 吸引圧力が強かったり、足りなかったりする場合は、強弱ツマミをゆっくり回し、真空計を見ながら徐々に吸引圧力を加減してください。
- 3 吸引ボトル内に吸引物が一杯になるとフロートが作動し、患者への吸引を止めます。
 - 吸引物はフロートが作動する前に捨てるようにしてください。

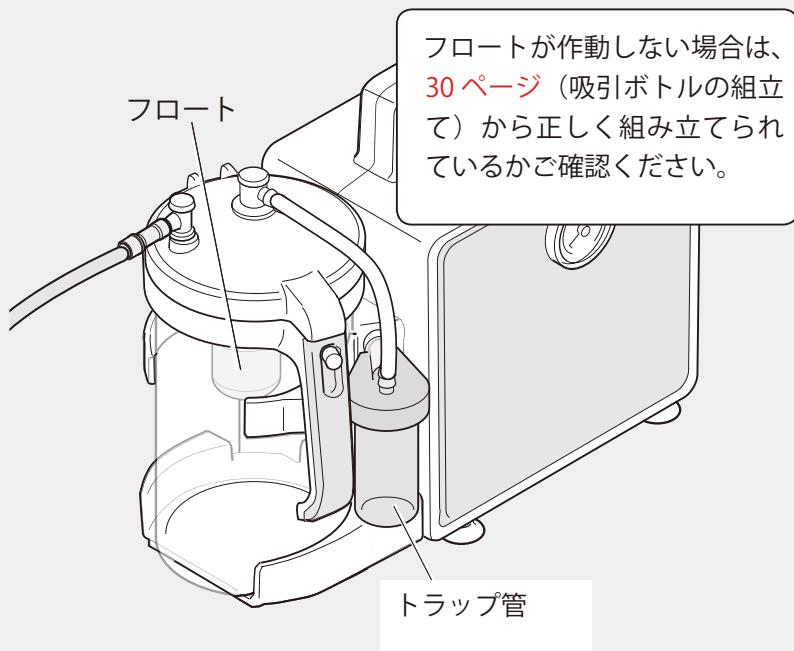
⚠ 注意

患者への吸引が止まっても本体は作動し続けています。運転スイッチを長押しし、本器を停止させ、吸引ボトルに溜まった吸引物を廃棄してから、再度吸引を行ってください。



吸引ボトル内のフロートについて

吸引ボトル内の吸引物が一定量まで溜まるとフロートが吸引物と共に上昇して吸引経路を塞ぎ、ボトル内に溜まった吸引物がポンプ内部に浸入することを防ぎます。



4 万一、ボトル内の吸引物をポンプ側に吸い込んでも、トラップ管に溜まるようになっています。

トラップ管には吸引物を溜めないように注意してください。

(トラップ管には消毒剤などを入れず、常に空の状態で使用してください。)



注意

吸引器は、配管内やポンプにミスト状の吸引物を吸い続けていますので、使用頻度によって吸引圧力や吸引流量に影響が出てきます。

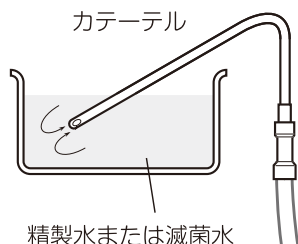
必ず製造販売元または医療機器修理業者による定期点検をお受けください。(有料)

3. 使用後の取扱い

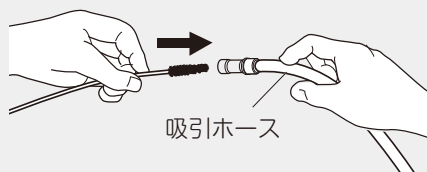
1

吸引が終了したあとは、精製水(滅菌水)などを吸引し、ホースやカテーテルの目詰まりを防ぐために洗浄を行ってください。

- ぬるま湯(40℃程度)を吸引すると、より汚れが落ちやすくなります。



吸引ホース専用洗浄ブラシを用いるとホース内部を清掃することができます。目詰まり・カビ予防に有効です。



吸引ホース専用洗浄ブラシを用いた洗浄方法

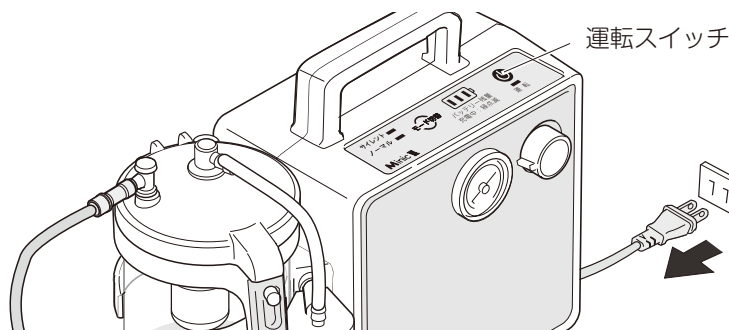
47 ページ

2

運転スイッチを長押ししし本器を停止します。

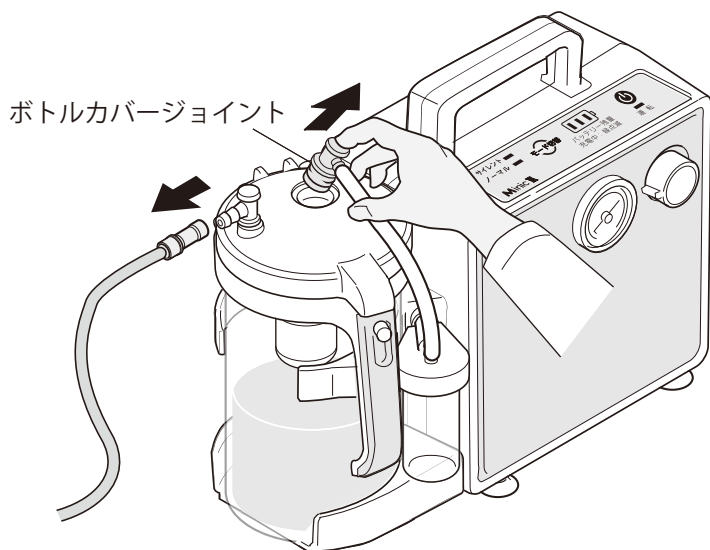
本器を AC アダプタで使用した場合はコンセントから、自動車用電源コードで使用した場合は自動車の電源ソケットからプラグを抜きます。

注：必ず根元のプラグ部分を持って抜いてください。

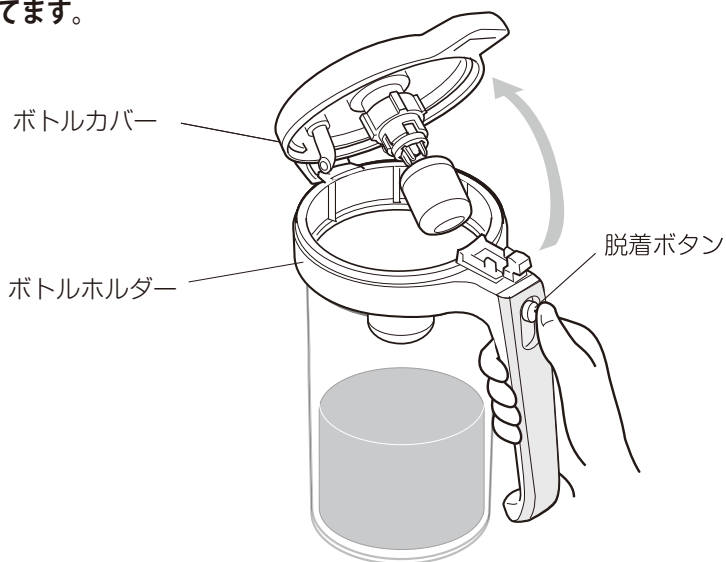


3 吸引ホース口から吸引ホースを取り外します。

4 吸引ボトル上部についているボトルカバージョイントを取り外し、本体から吸引ボトルを取り出します。



5 ボトルホルダーの脱着ボタンを押し、ボトルカバーをはずして吸引物を捨てます。

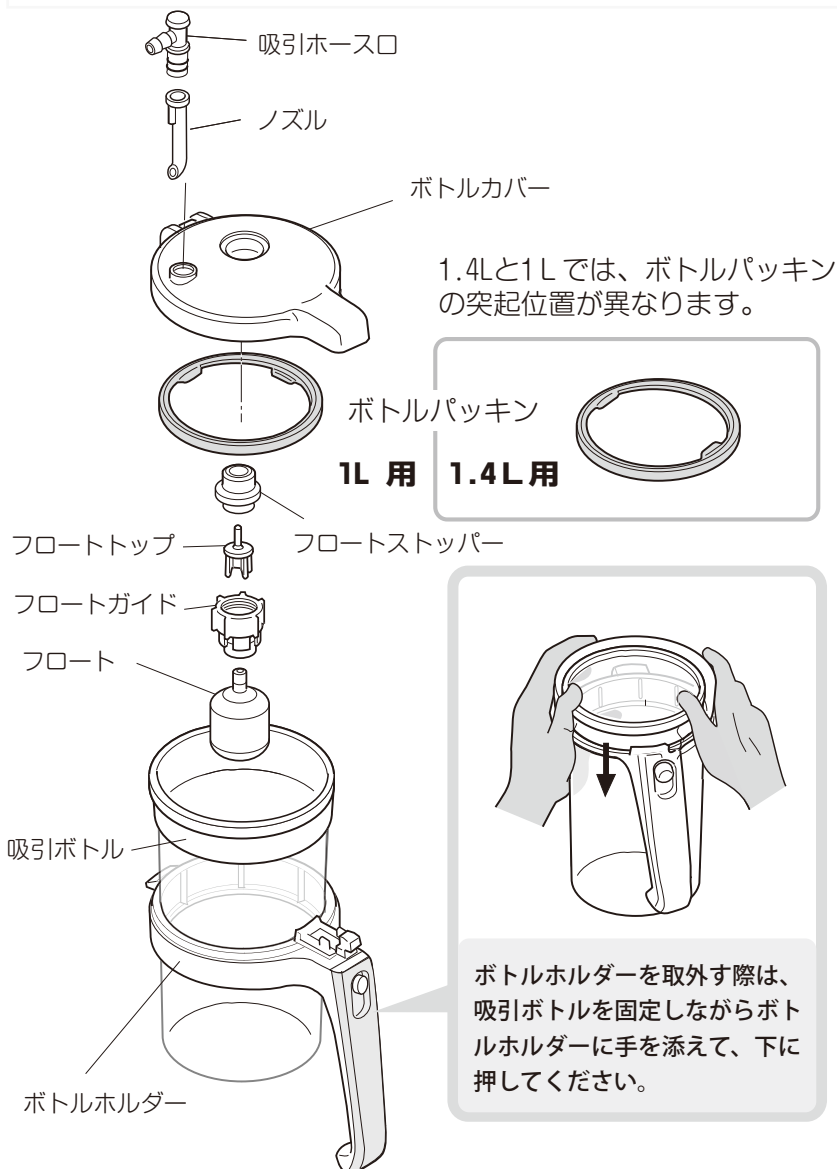


6

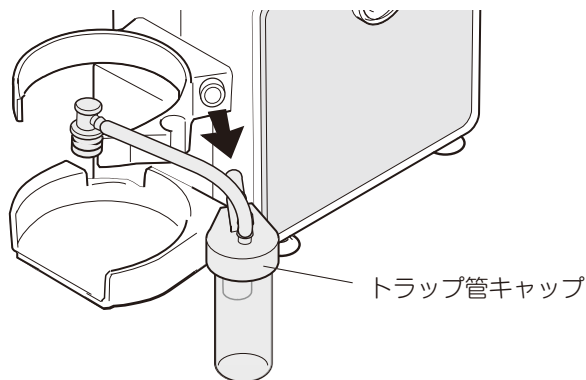
各部品を次項のように取り外して洗浄します。

- 部品を失くさないように注意して清潔な水で洗ってください。

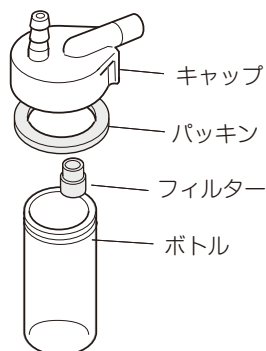
吸引ボトルセットの分解図



- 7** トラップ管はトラップ管キャップを手前に引くことで本体から取り外すことができます。



トラップ管の分解図



トラップ管のフィルターについて

フィルターはポンプ内へミスト状の吸引物や消毒剤の浸入を減少させるためのものです。吸引が弱くなり、目詰まり感が出ましたら、早めに予備のフィルターと交換してください。

注；予備のフィルターが無く、緊急を要する場合にはフィルター無しで使用してください。その後の使用のために必ず予備のフィルターを販売店でお買い求めください。

⚠ 注意 フィルターは滅菌・消毒しての再使用は出来ません。新しいフィルターと交換してください。

- 8** 汚れがきれいに落ちていることを確認し、滅菌または消毒をしてください。(26 ページ参照)

4. 在宅での使用後の取扱い

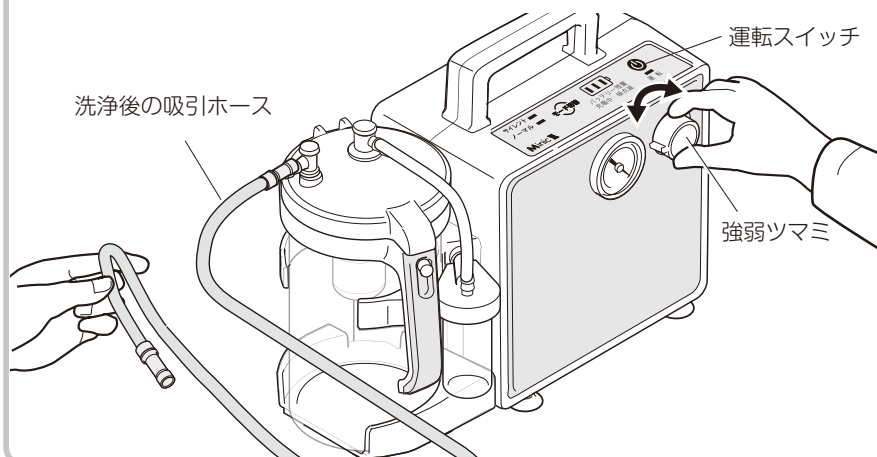
下記の部品は、洗浄・消毒が不十分だとカビ（黒またはピンク）が発生する可能性があります。ご使用後の洗浄・乾燥を十分に行ってください。消毒は必要に応じて行ってください。

- 吸引ホース
- 吸引ボトルセット
- 吸引ホース口

吸引器を用いた吸引ホース内部の乾燥方法

洗浄して各部品を組み立てた後、以下の手順で吸引ホースを乾燥することができます。（吸引ボトルセットの組み立て方法：30 ページ参照）

- ① 13 ページに従って AC アダプタを接続してください。
- ② 吸引ホース口に、洗浄後の吸引ホースを接続します。
- ③ 本体の運転スイッチを長押しし、本器を作動させます。
- ④ 強弱ツマミを「強」いっぱいまで回し、吸引ホースの先端を折り曲げ閉塞します。
- ⑤ 真空計を確認し、吸引圧力が -80kPa 程度になったら、吸引ホースから手を離し開放します。開放すると勢いよく空気が流れ、ホース内部の水が吸引されます。
- ⑥ ④～⑤の手順を、4. 5 回繰り返します。
- ⑦ 吸引ホース内部が乾燥したら、運転スイッチを長押しし、本器を停止させます。
- ⑧ 吸引された吸引ボトル内の水を、乾いた布等で拭き取ります。



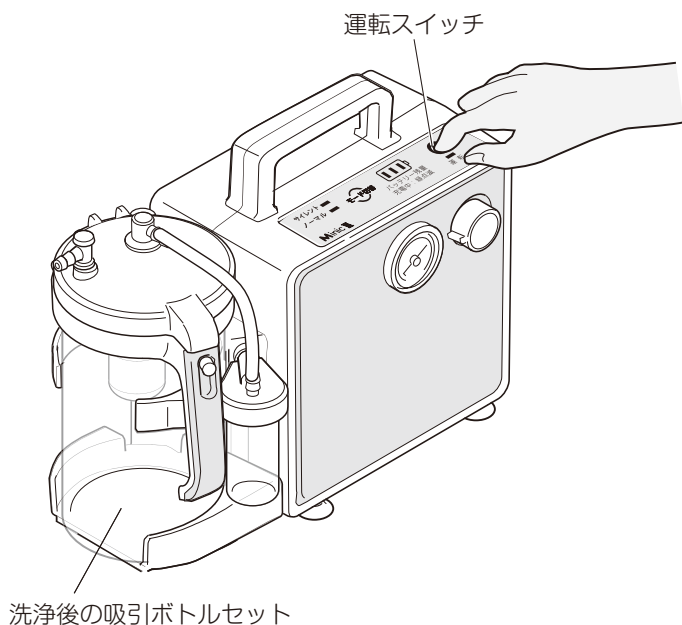


注意

前記の乾燥方法は、必ず吸引ボトル内を空にしてから行ってください。吸引の勢いで吸引ボトル内の内容物が飛散し、本体内部に浸入するおそれがあります。

吸引ボトル内の各部品を早く乾燥させる方法

洗浄後、乾いた布等で各部品の水分を拭き取ってください。
組み立てて本体に接続した後、運転スイッチを長押しし本器を作動させ、吸引ボトル内を乾燥させてください。(自然乾燥よりも早く乾燥し、カビ発生の防止になります。)



滅菌・消毒について

病院等の施設での滅菌・消毒方法

消毒剤による浸漬消毒またはEOG(エチレンオキサイドガス)滅菌をおすすめします。

- EOG(エチレンオキサイドガス)滅菌

50℃以下で行い、滅菌後十分にエアレーションを行うなど、残ガスには十分にご注意ください。

- 消毒剤による浸漬消毒

吸引ボトルセットの各部品は、各材質に合った消毒剤を用いて浸漬消毒を行ってください。

グルコン酸クロルヘキシジン(ヒビテン液など)や逆性石けん類(オスバン液など)などの、樹脂にやさしい消毒剤のご使用をお勧めします。



高圧蒸気滅菌(オートクレーブ)はできません。

各部品の耐熱温度(100℃以下)を超えるため。

在宅での消毒方法

消毒剤による浸漬消毒をおすすめします。

吸引ボトルセットの各部品は、各材質に合った消毒剤を用いて浸漬消毒を行ってください。

(消毒剤の添付文書に記載されている、濃度を守ってください。)

滅菌・消毒 ○× 一覧表



28 ページ

注意

消毒剤使用上の注意

- 必ず消毒剤の添付文書をよく読み、記載されている注意事項や使用濃度を守ってください。(部品劣化の原因となります)
- 汚れ、付着物等をよく落としてから消毒をしてください。
(汚れ、付着物がついたままでは消毒効果が下がります。)
- 消毒後はすすぎ洗いし、良く乾燥させてから保管してください。
- 消毒剤は他の消毒剤や洗剤と混ぜないでください。
(消毒剤の効果が損なわれたり、人体に影響を及ぼす危険な成分が生じることがあります。)





消毒剤選定の注意

- 次亜塩素酸ナトリウム系、ポビドンヨード系の消毒剤は金属部が腐食する場合があるので避けてください。
- クレゾール系、両性界面活性剤系、アルコール系は樹脂にヒビ割れ等が生じる可能性がありますので避けてください。
- 強酸性水は金属部を腐食させますので、ご使用にならないでください。

滅菌・消毒について

参考資料 (滅菌・消毒 ○× 一覧表)





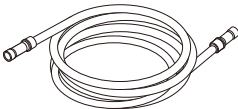
○：使用可能 △：使用可能（外観または感触に変化あり） ×：使用不可

消毒剤の種類 (代表的な商品名)	形状				
	品名	吸引ボトル	ボトルカバー	ボトルホルダー	ボトルパッキン
	材質	P C	PC / ABS	PC / ABS	シリコン
グルコン酸クロルヘキシジン (ヒビテン液)		○	○	○	○
逆性石鹼類 (オスバン液)		○	○	○	○
フタラール (ディスオーパ)		○	○	○	○
アルコール (消毒剤エタノール)		○	○	○	○
次亜塩素酸ナトリウム (ミルトン)		○	○	× ※金属腐食	○
両性界面活性剤 (エルエイジー)		× ヒビ	○	○	○
フェノール類 (クレゾール石鹼液)		×	×	×	×
ポビドンヨード (イソジン)		×	×	×	×
煮沸消毒 (ウオッシャーディスインフェクター含む)		○	×	×	×
高圧蒸気滅菌		×	×	×	×
EOG (エチレンオキシドガス) 滅菌		○	○	○	○

※ボトルホルダー内にステンレス部品が含まれているため、金属腐食が発生します。

●フェノール、ポビドンヨードはヒビ、溶解、着色の恐れがあります。

●煮沸消毒、高圧蒸気滅菌は変形の恐れがあります。

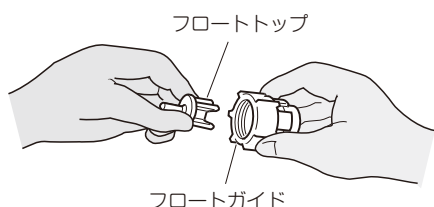
				
フロート ストッパー	フロートトップ フロートガイド フロート	ノズル	吸引ホース口 (Oリング)	吸引ホース (アダプター付)
シリコン	P P	PC / ABS	P P (シリコン)	塩化ビニル
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	×
○	○	○	○	△
○	○	○	○	△
×	×	×	×	×
×	×	×	×	×
×	×	×	×	×
×	×	×	×	×
○	○	○	○	○

消毒後の処置

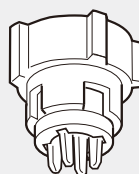
吸引ボトルセットの組立て

消毒後はよくすすいで、乾燥させます。吸引ボトルセットは次項のように組み立てます。

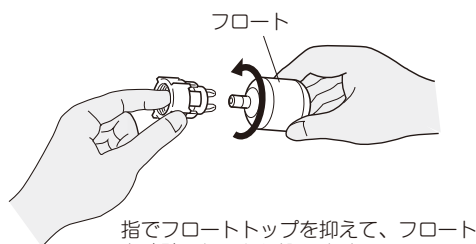
1 フロートガイドにフロートトップを取付けてください。



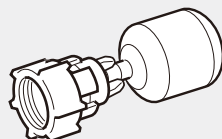
フロートトップの爪が出るまで押しこみます。



2 フロートトップ・フロートを組立てます。

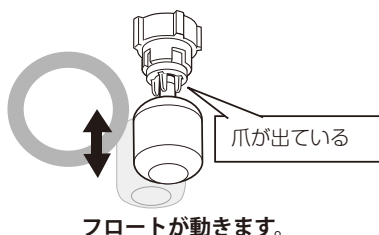


指でフロートトップを抑えて、フロートを時計回りにねじ込みます。



フロートの組立ての完了です。

フロートガイドからフロートトップの爪が出ないままフロートを取付けると、フロートが吸引停止状態で固定され、吸引できなくなります。

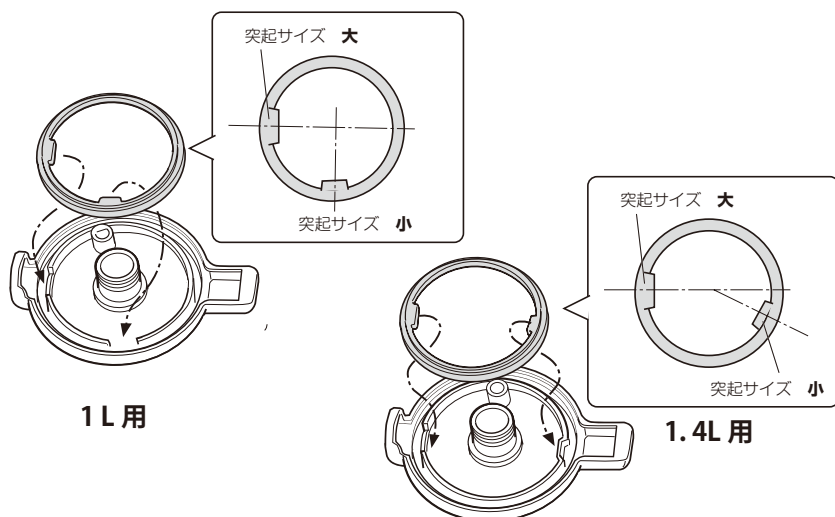


3 ボトルカバーにボトルパッキンを取付けます。

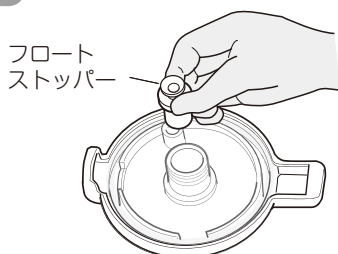
ボトルパッキンの突起部分とボトルカバーの切り欠け部を一致させてください。(逆付け防止のため)

1L 用と 1.4L 用では突起部分の位置が異なります。

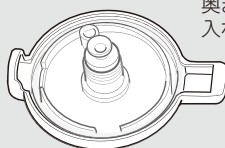
溝がある部分がカバー側になるように取付けてください。



4 ボトルカバーにフロートストッパーを取付けます。

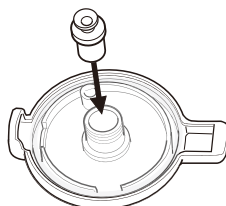
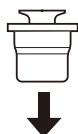


奥までピッタリ
入れてください。



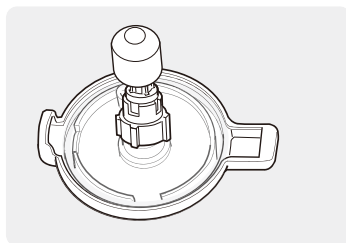
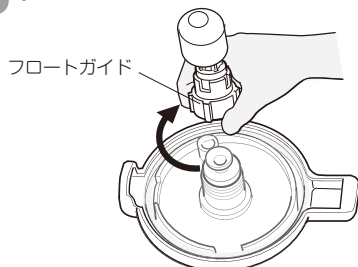
取付ける向きに注意！

フロートストッパー



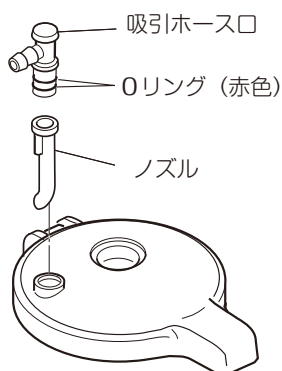
消毒後の処置

5 組立てたフロートをボトルカバーに取付けます。

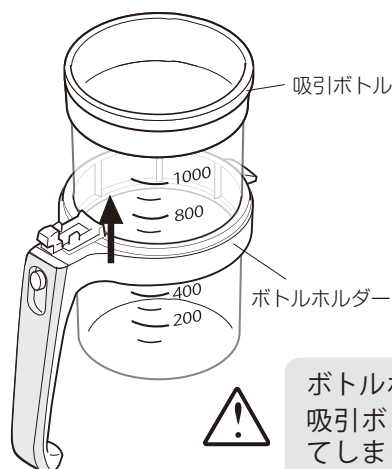


6 吸引ホース口とノズルを取付けます。

注：吸引ホース口にOリング（赤色：2個）がついていることを確認してください。（Oリングがない状態で使用すると正しく吸引できない可能性があります）



7 吸引ボトルカバーにボトルホルダーを取付けます。

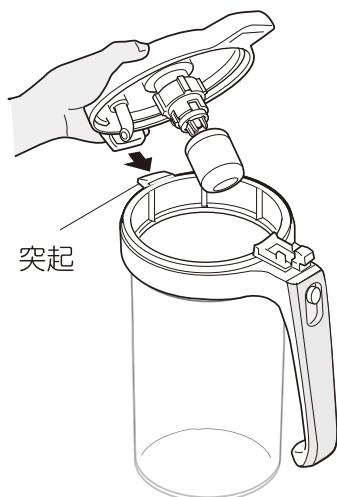


ボトルホルダーを上までしっかり入れます。吸引ボトルの途中でボトルホルダーを止めてしまうと、ボトルカバーが閉まらないことがあります。

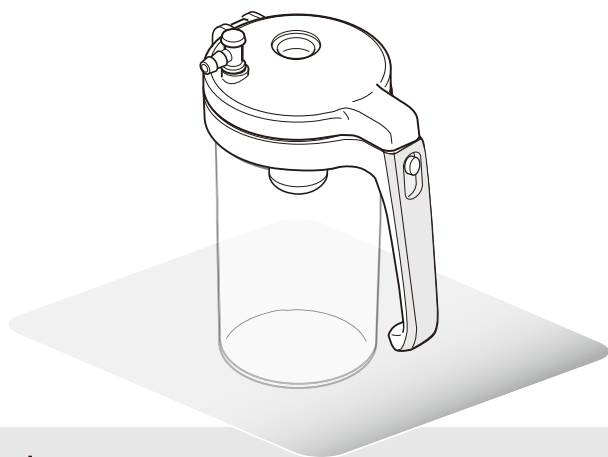
8

ボトルカバーを取付けます。

- ① ボトルカバーとボトルホルダーの突起部を合わせます。
- ② 合わせた部分をおさえてボトルカバーを取付けます。



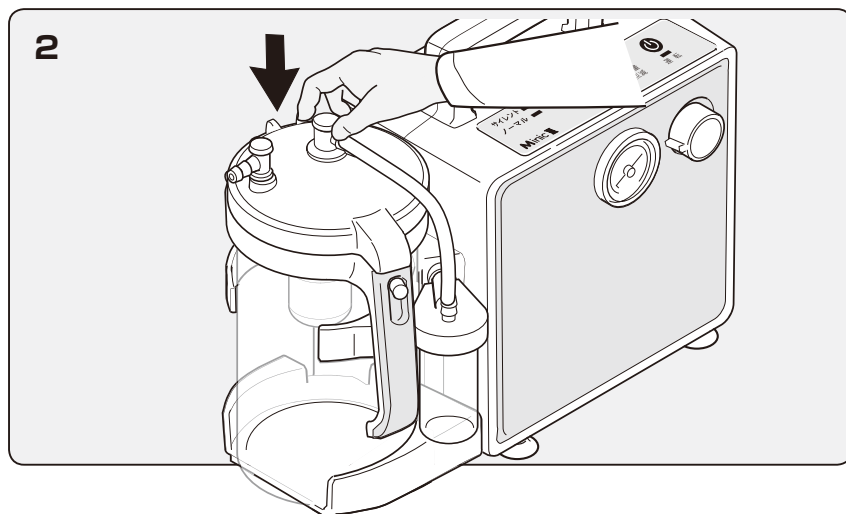
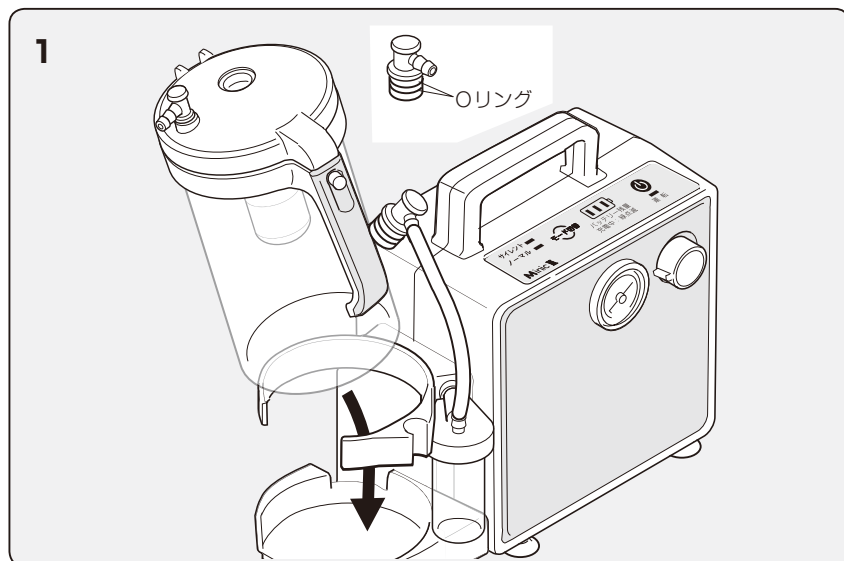
以上でボトルセットの組立ては完了です。

**⚠ 注意**

部品の付け忘れに注意してください。不足部品があると、フロートが正常に作動せず、本体内部に吸引物が浸入するおそれがあります。

本体との接続

1. 吸引ボトルホルダーに吸引ボトルセットを取付けます。
 2. ボトルカバー上部にボトルカバージョイントを取付けます。
- 注：Oリング（赤色：2個）がついていることを確認してください。
（Oリングがない状態で使用すると、正しく吸引できない可能性があります。）



使用後の処置とバッテリーの交換

バッテリーの充電

バッテリーでお使いになったあとは、付属の「AC アダプタ」または「自動車用電源コード」で充電を行い、満充電状態にして保管してください。

(12 ページから 14 ページ参照)

AC アダプタまたは自動車用電源コードを接続したまま、運転スイッチを停止させたとき、規定充電量がバッテリーにないと、自動的に充電状態になります。その際、バッテリー残量ランプが点滅し、充電状態であることをお知らせします。

規定の充電量に達するとバッテリー残量ランプが「点灯」に変わり、充電が完了したことをお知らせします。



注 意

自動車用電源コードを使用して充電する場合は、車内の換気に注意し、エンジンをかけたままの状態で行ってください。

バッテリーの交換

バッテリーの交換方法

規定時間以上充電しても本器が作動しないか、すぐに止まってしまうようになったら、バッテリーが劣化して十分な電力が得られていない状態です。

(14 ページ参照)

この場合は次の手順に従って新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーの購入は 52 ページ「交換部品」を参照してください。



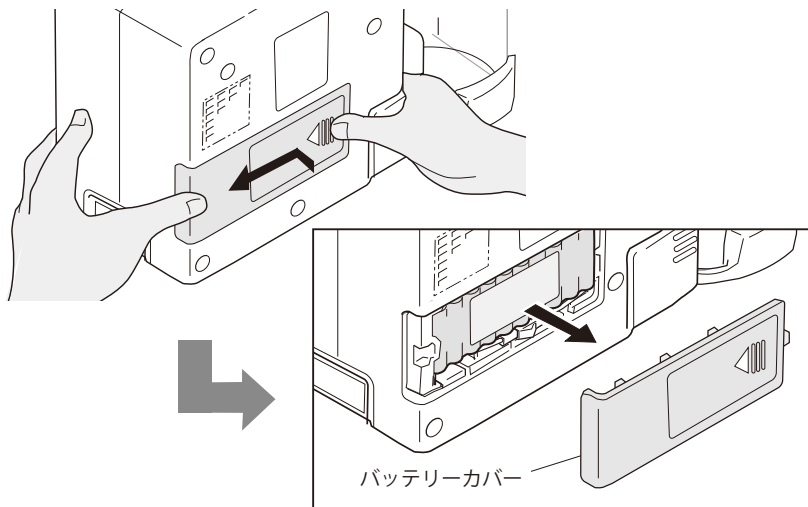
使用後の処置とバッテリーの交換

本製品のバッテリーはお客様で交換できます。交換用のバッテリーのご購入に関しては、販売店へご連絡ください。(52 ページ「交換部品」を参照)

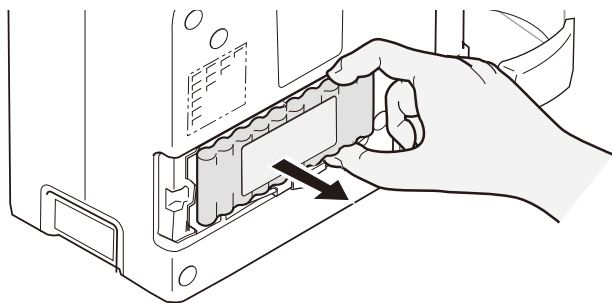
⚠ 注意 本器が停止していること、本製品に AC アダプタ・自動車用電源コードが接続されていないことを確認してから、バッテリーを交換してください。

1 バッテリーカバーを外します。

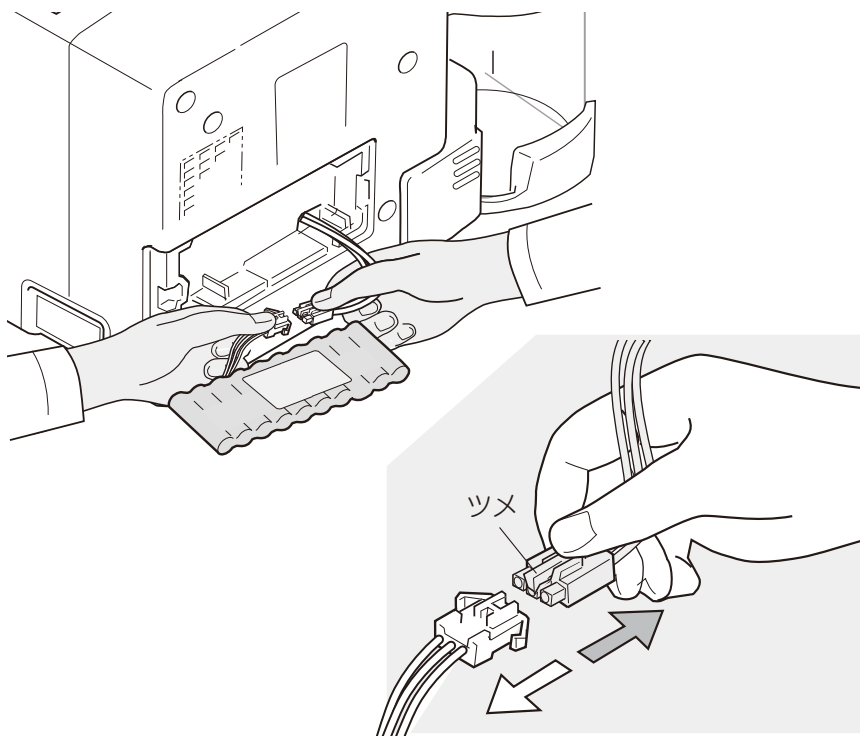
本体背面のバッテリーカバーの矢印マークを指で押して、左にスライドさせて外します。



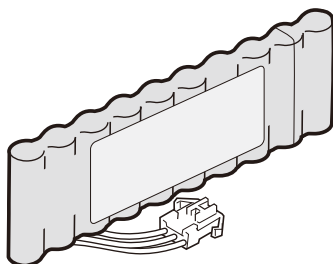
2 バッテリーケースの隙間に指を入れてバッテリーを取り出します。



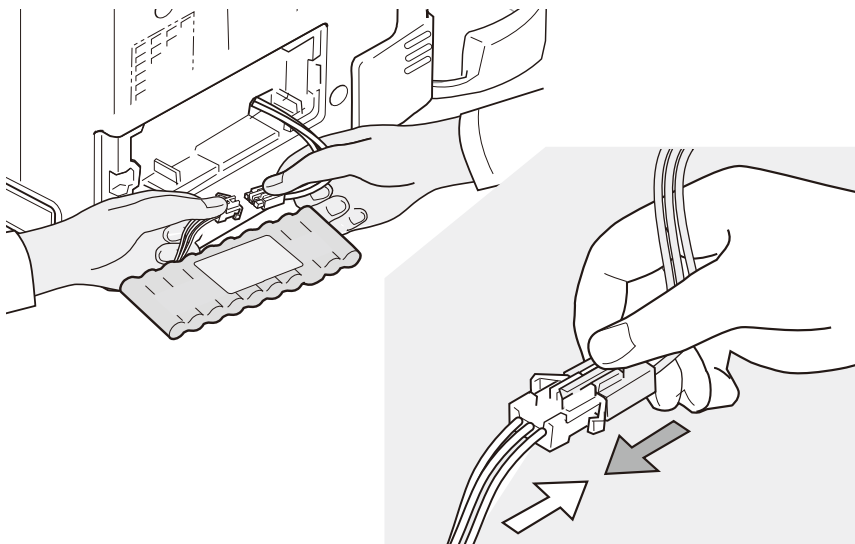
- 3** 本体側のコネクタのツメを指で押しながら、バッテリーのコネクタと本体側のコネクタを外します。



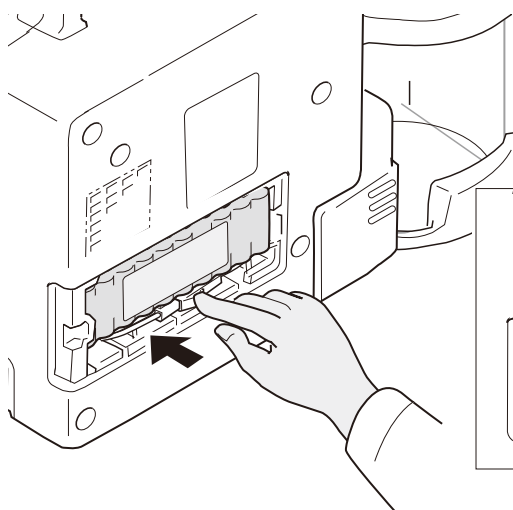
- 4** 新しいバッテリーを用意します。



- 5** 新しいバッテリーのコネクタと本体側のコネクタを接続します。

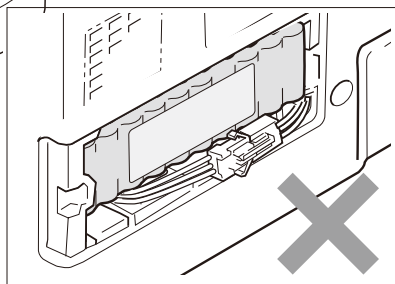


- 6** バッテリーに貼付されている黄色いシールが見えるように本体に格納します。端子およびコードはバッテリー下部の隙間に収納します。



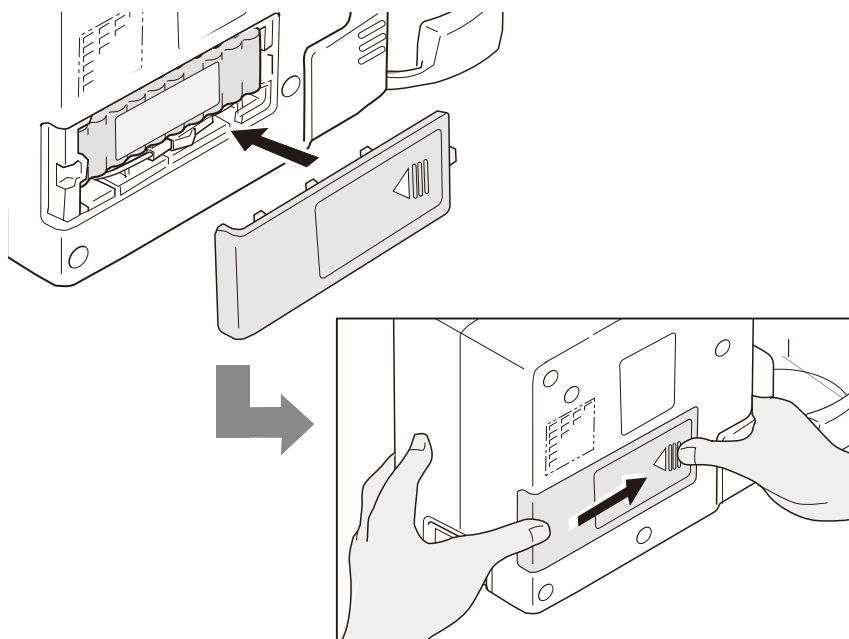
注意：

コネクタ部を縦にしてしまうと本体に収納することができません。



7

バッテリーカバーを右にスライドさせ、本体に取付けて完了です。



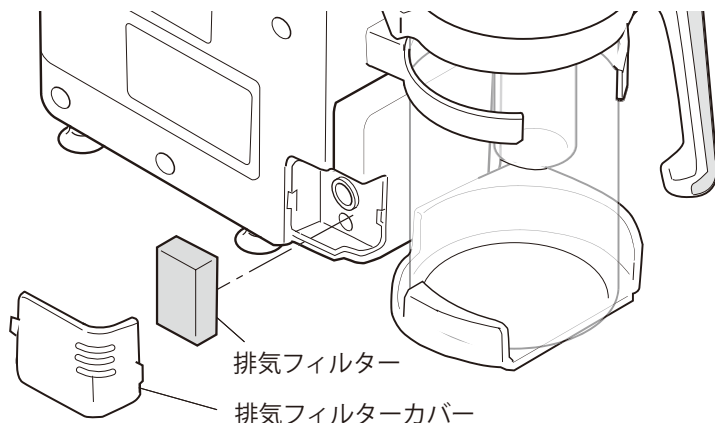
バッテリー交換に関する注意

- バッテリーの外装は剥がしたり、傷つけないでください。
- 本体側のコネクタケーブルは無理に引っ張らないでください。
- コネクタやバッテリーカバーで指など傷つけないよう注意してください。
- バッテリーカバーは確実に閉じて、本製品を使用してください。
- 使用後のバッテリーは放置せず、リサイクルの処理を行ってください。(55 ページ「廃棄について」 参照)

その他、9 ページ「バッテリーの安全上のご注意」を参照してください。

排気フィルターの清掃

本体背面の排気フィルターカバーを外すと排気フィルター（スポンジ製）が取り出せます。排気フィルターは定期的に（1 ヶ月に 1 回程度）中性洗剤で洗浄するか、古くなった場合などは交換します。



● 洗浄方法

中性洗剤を少し加えたぬるま湯（40℃以下）で洗い、よく乾燥してから元のように取り付けてください。

● 排気フィルターの交換

スポンジの排気フィルターには吸引時のミストや消毒剤等のミストによる汚れが付着します。洗浄しても汚れが落ちないようでしたら、交換してください。

⚠ 注意

排気フィルター（または排気口）に水が溜まる場合があります。吸引するときに吸い込んだ空気中の水分が結露したもので、異常な現象ではありません。

特に下記条件では結露しやすくなります。

- 湿度が高い（梅雨の時期、雨の日）、寒い室内で吸引する。
- 室内で加湿器を使用する。

本体の清掃

本体外装部は水で湿らせた布に中性洗剤を少量加えて汚れを落とし、乾いた布等できれいに拭き取ってください。

- 水洗いは絶対にしないでください。
- ベンジン、シンナー、研磨剤入り洗剤（クレンザーなど）、中性洗剤以外をご使用になりますと、樹脂にヒビ割れ等が生じる可能性があります。
- フェノール系、両性界面活性剤系、アルコール系は樹脂にヒビ割れが生じる可能性がありますので、避けてください。

⚠ 注意



本体の保管

- 気圧、湿度、温度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生じるおそれの無い場所に保管してください。
- 水のかからない場所に保管してください。
- 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないでください。

保守・点検について

1. 日常点検

本器をご使用中に運転不良が起きないように、以下の点検を使用前に行ってください。

- 吸引ボトルセットにキズ・ヒビ割れがないか確認してください。
- トラップ管にキズ・ヒビ割れがないか確認してください。
- AC アダプタのプラグに変形がないこと、被覆が破けていないことを確認してください。
- 排気フィルターが汚れていないことを確認してください。
- 運転スイッチを長押しし、正常に作動 / 停止を行うことを確認してください。
- 運転スイッチを長押しし、本器を作動させ、指で吸引ホースを折り曲げ、強弱ツマミを回し、真空計の指針がスムーズに変動することを確認してください。

- の項目に異常が見られた場合は…新しい部品に交換してください。
- の項目に異常が見られた場合は…本体内部の異常が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。

2. 定期点検

突然の事故を未然に防止し、安全にお使いいただくため、弊社では2年に一度の製造販売元または医療機器修理業者による、定期点検の実施をお願いしております。

吸引器は、長時間の使用中にミスト状の吸引物等がポンプ内および配管に浸入します。そのため、吸引能力が次第に初期値に比べて低下しますので、必ず定期点検を受けてください。(定期点検は有料となります)

定期点検内容

- ゴム製部品等の消耗部品の交換
- 機能・性能点検

機能・性能に異常がある場合

- 本体内部の調整
- 必要に応じて劣化部品の交換

3. 保守点検（ユーザー点検）チェックリスト

保守点検（ユーザー点検）は使用者が行う点検です。3 ヶ月に 1 度は以下の点検を実施して下さい。

目視点検

点 検 項 目			判定結果
外観 確認	AC アダプタ	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	運転スイッチ	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	真空計	破損、亀裂、緩み、汚れ等がないこと	合・否
	強弱ツマミ	破損、亀裂、緩み、変形、汚れ等がないこと	合・否
	吸引ホース	破損、亀裂、変形、汚れ等がないこと	合・否
吸引 ボトル	吸引ボトル	破損、亀裂、変形、汚れ等がないこと	合・否
	ボトルカバー	破損、亀裂、変形、汚れ等がないこと	合・否
	ボトルホルダー	破損、亀裂、変形、汚れ等がないこと	合・否
	吸引ホース口	破損、亀裂、変形、汚れ等がないこと	合・否
	ノズル	破損、亀裂、変形、汚れ等がないこと	合・否
	ボトルパッキン	破損、亀裂、変形、汚れ等がないこと	合・否
	フロート	破損、亀裂、変形、汚れ等がないこと	合・否
トラッ プ管	キャップ	破損、亀裂、変形、汚れ等がないこと	合・否
	フィルター	破損、変形等がないこと	合・否
	ボトル	破損、亀裂、変形、汚れ等がないこと	合・否

保守・点検について

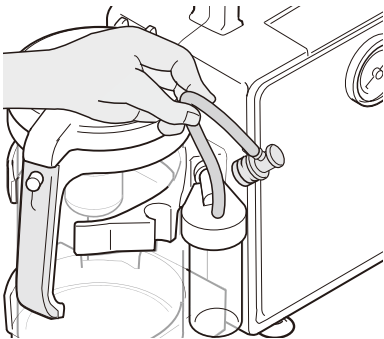
機能点検

点 検 項 目	判定結果
真空計の指針が停止状態で「0」を差すこと	合 ・ 否
強弱ツマミを「強」方向に回したときに吸引圧力が高くなること	合 ・ 否
強弱ツマミを「弱」方向に回したときに吸引圧力が低くなること	合 ・ 否
真空計の指針がスムーズに動くこと	合 ・ 否
異音の発生や強弱ツマミ等に緩みが無いこと	合 ・ 否

機能点検で「否」の項目があった場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、製造販売元または医療機器修理業者に点検・修理を依頼してください。

故障かな？と思われたら

故障かな？と思われた場合、修理を依頼される前にこの処置を行ってみてください。正常に作動する場合があります。各処置を行っても正常に作動しない場合は分解などはせず、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因	対 策
運転スイッチを長押ししても作動しない、または時々止まる	<ul style="list-style-type: none"> ● AC アダプタまたは自動車用電源コードの差し込みが不十分。 ● 断線している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● AC アダプタまたは自動車用電源コードを本体電源ジャックにしっかりと差し込んでください。(12 ページ参照) ● 断線または断線の疑いがある場合は、販売店へご連絡ください。
	運転スイッチを押す長さが短い。	運転スイッチを本器が作動するまで長押ししてください。(0.5 秒以上) 本器が作動したらスイッチから手を離してください。
	バッテリーが充電されていない。	バッテリーを充電してください。バッテリーの充電の仕方は 12 ページを参照してください。
	本体内部(モーター等)の異常が考えられる。	販売店へご連絡ください。
	吸引ボトル内に陰圧が残ったままになっている。	吸引ボトル内に陰圧が残った状態(真空計の指針が「0」に戻っていない状態)では、ポンプの安全装置が働き、本器が作動しなくなることがあります。陰圧が残っている場合は、吸引ホース等を外し陰圧を開放し、真空計の指針が「0」に戻ったことを確認してから、運転スイッチを長押ししてください。
ポンプは作動しているが吸引しない、または吸引圧力が弱い	<p>① 本体内部に異常がある。 《以下の方法で確認します》</p> <p>吸引ボトル上部についているボトルカバージョイントを取り外し、ホースを折り曲げ閉塞します。本体を作動させ、強弱ツマミを「強」いっぱいに戻します。吸引圧力が、-70kPa 程度(※)まで上がれば本体は正常です。</p>	

症 状	原 因	対 策
ポンプは作動しているが吸引しない、または吸引圧力が弱い	※ 初期性能は -85kPa ですが、ご使用の期間・頻度によって性能が低下しますので -70kPa を目安に判断してください。	吸引圧力が上がらない場合は本体内部の異常が考えられます。販売店へご連絡ください。 ● 本体内部が正常であることが確認出来たら、②以降に進んでください。
	② 吸引ボトルセットの組み立てに不備または部品の欠品がある。	30 ページの《吸引ボトルセットの組立て》を参照し、吸引ボトルが正しく組み立ててあるか、部品の欠品がないか確認してください。
	③ 吸引ボトルセットの部品が劣化し漏れが発生している。	各部品を確認し、亀裂やヒビ割れ等がないか確認してください。 亀裂やヒビ割れ等が見つかった場合は、新しい部品と交換してください。
	④ フロートがフロートストッパーにくっついている。 (吸引ボトル内に吸引物が溜まり、安全機能が働いている。)	● 吸引物を捨ててください。 ● 本体から吸引ボトルセットを取り外し、ボトルカバーを外し、フロートとフロートストッパーを離してください。フロート、フロートガイドに吸引物等の付着が見られる場合は、分解して洗浄・乾燥のうえ元通りに取付けてください。 (30 ページ参照)
充電中にバッテリー残量表示ランプが点灯・点滅しない、表示すべてが点滅する	● AC アダプタまたは自動車専用電源コードが外れている。 ● 断線している。	● AC アダプタまたは自動車専用電源コードが本体の電源ジャックにしっかりと差し込まれているか確認してください。 ● 断線または断線の疑いがある場合は、販売店へご連絡ください
	バッテリーの接続不良。	36 ページを参照し、バッテリーが正しく取付けられていることを確認してください。
	充電またはバッテリーの異常。	本体内部の点検が必要です。販売店へご連絡ください。
バッテリーを規定以上充電しても、作動しない。また、すぐに止まってしまう	バッテリーが劣化している。	バッテリーが劣化して十分な電力が得られていない状態です。新しいバッテリーと交換してください。
その他	販売店へご連絡ください。	

オプション・交換部品について

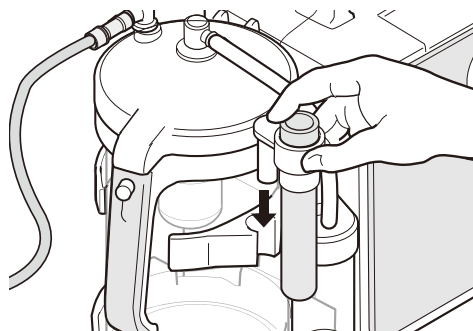
本製品にはオプション品および交換部品として、以下の製品を用意しております。
本器をより効果的にご使用いただくために、ご利用ください。





1. オプション品

品 名	用 途
吸引カテーテル MT 包装単位：各 20 本  <ul style="list-style-type: none"> ● 8FR（外径 2.67mm） / ライトブルー 商品コード：340790040 ● 10FR（外径 3.33mm） / 黒色 商品コード：340790001 ● 12FR（外径 4.0mm） / 白色 商品コード：340790002 ● 14FR（外径 4.67mm） / 緑色 商品コード：340790003 	吸引用カテーテルです。 アダプターはカラーコード化され、識別が容易です。
カテーテルホルダー（アダプタ付） 商品コード：200191857 包装単位：1 個 	吸引を一時中断する場合に、カテーテルを一時的に収納する際に使用するホルダーです。

カテーテルホルダーの取付方法

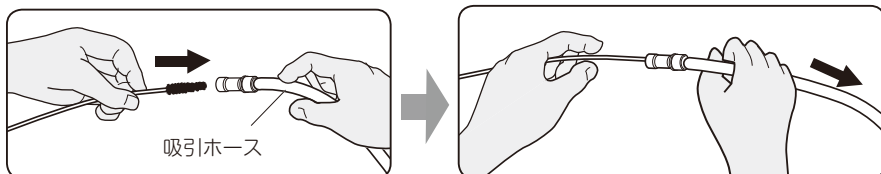
吸引ボトルホルダーのホース掛け部分にカテーテルホルダーのアダプタを差し込んでください。



品 名	用 途
吸いとる歯ブラシ 商品コード： 200190210 包装単位： 3 本 	吸引しながら歯磨きが可能です。 ブラシ部分が小さいので口腔内奥や狭いところまで届きます。歯ブラシは柔らかい毛を使用しています。(吸引カテーテルと歯ブラシが一体です)
吸いとるスポンジ 商品コード： 200190211 包装単位： 5 本 	吸引ホースに接続して、口腔内の汚れを落としながら吸い上げます。 枝の付いたハート型の穴で吸引のオン/オフが出来ます。
専用キャリーバッグ 商品コード グリーン： 200191841 ブルー： 200191842 パープル： 200191843 包装単位： 1 個 	ショルダーベルト付きで持ち運びに便利です。
吸引ホース専用洗浄ブラシ 商品コード： 200190250 包装単位： 1 本  全長 1200mm	吸引ホース(アダプター付)の内部を洗浄する時に使用します。 ホース内部の汚れを落とすことが出来ます。

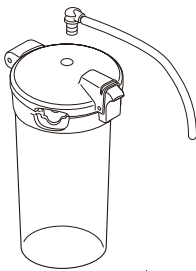
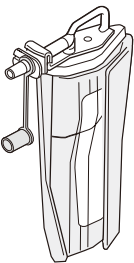
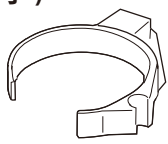
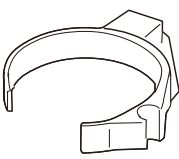
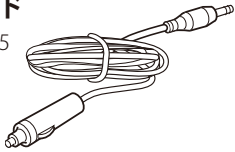
吸引ホース専用洗浄ブラシを用いたホース内部の洗浄方法

1. 吸引ホースを水ですすぎます。
2. ホース内部にホース専用洗浄ブラシを差し込み、洗浄します。
3. 汚れを落としたら吸引ホースを流水ですすぎ、乾燥させてください。



※ 中性洗剤を使用するとブラシの動きがスムーズになります。
 また、ぬるま湯(40℃程度)で洗浄すると汚れが落ちやすくなります。

オプション・交換部品について

品 名	用 途
吸引キャニスタ 商品コード：200191410 包装単位：1 個 ミニックⅢディスポ用 接軸ホース 商品コード：200191871 包装単位：1 本	 <p>吸引ボトルの代わりにディスポ ザブル吸引バッグを使用して吸引 するためのキットです。 ※必ず 2 点一緒にお買い求めくだ さい。 ● 別途「SHIN-EI 吸引バッグ」を お買い上げください。</p>
SHIN-EI 吸引バッグ 商品コード SAKURA : 200190904 LEMON : 200190905 WAKABA : 200190906 包装単位：50 個	 <p>吸引キャニスタに取付ける単回使 用の吸引バッグです。 ● 使用方法は、吸引バッグの添付 文書をご参照ください。 ● 吸引バッグは単回使用です。再 使用はできません。 使用後は市町村の指導により廃 棄してください。</p>
吸引ボトルホルダー (小) 商品コード：200191862 包装単位：1 個	 <p>吸引ボトル 1L を使用する際に本 体に取り付けます。 ※ミニックⅢ -S には最初から本体 に付属されています。</p>
吸引ボトルホルダー (大) 商品コード：200191863 包装単位：1 個	 <p>吸引ボトル 1.4L および吸引キャニ スタを使用する際に本体に取り付 けます。 ※ミニックⅢ -W には最初から本 体に付属されています。</p>
自動車用電源コード 商品コード：200190085 包装単位：1 個	 <p>自動車の電源ソケットに接続して 自動車内でご使用になれます。 注：DC24V 使用の車両ではご使用 になれません。</p>

お求めの際は、お買い上げの販売店に商品名と商品コード、お求めになりたい数量をお伝えください。

吸引ボトルホルダーについて

使用する吸引ボトルによって、吸引ボトルホルダーのサイズが異なります。必ず吸引ボトルに合ったホルダーをご使用ください。

吸引ボトルホルダーに合わない吸引ボトルを取付けると以下のようなことが起こる可能性があります。

- **吸引ボトルホルダー（小）に吸引ボトル 1.4L または吸引キャニスタを取付けた場合・・・**

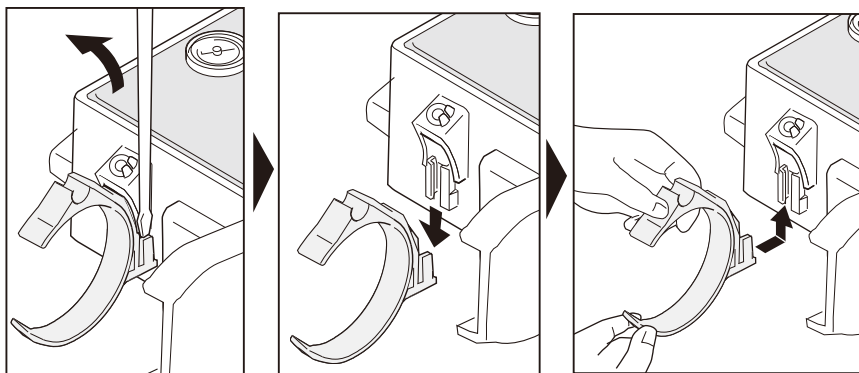
取付けることは出来ません。無理に取付けようとすると、吸引ボトルホルダー（小）が破損する可能性があります。

- **吸引ボトルホルダー（大）に吸引ボトル 1L を取付けた場合・・・**

吸引ボトルと吸引ボトルホルダー（大）の間に隙間が出来てしまい、本器作動中に吸引ボトルが傾いたり倒れたりする可能性があります。

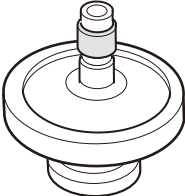
吸引ボトルホルダーの交換方法（大・小 共通です）

- ① 吸引器本体の正面を上にして寝かせます。
- ② 吸引ボトルホルダーの下部にあるツメ部分をマイナスドライバー等で引き上げながら、吸引ボトルホルダーを下にスライドさせて取り外します。
- ③ 交換する吸引ボトルホルダーを上スライドさせ「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込みます。



注意

工具を使用する際には、作業のしかた、周りの状況やケガなどに十分注意して使用してください。

品 名	用 途
PTFE 吸引フィルター 商品コード：200191861 包装単位：1 個 	このフィルターをご使用いただくことによって、ミスト状の吸引物や、吸引ボトルからの液体状の水分がポンプ内に浸入することを防止します。感染予防にオススメです。

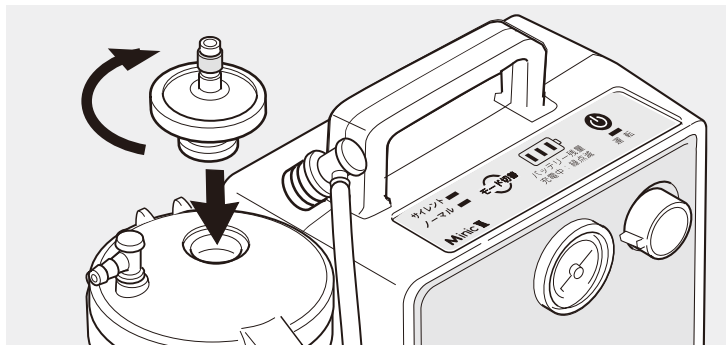
PTFE 吸引フィルターについて

⚠ 注 意

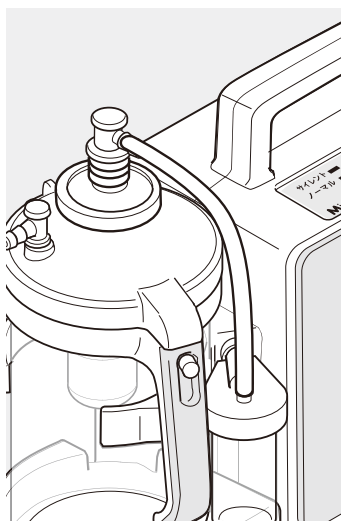
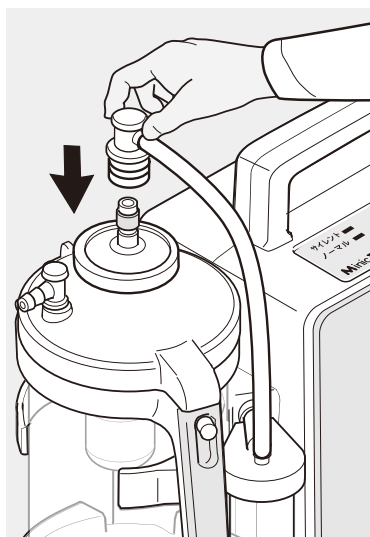
- ミスト状（霧状）になった吸引物が付着するため、徐々に目詰まりを起こします。吸引力が低下したと感じたら、早めに新しいフィルターと交換してください。
- 万一吸引物をフィルターに吸い込んでしまった場合には、1 回で目詰まりを起こし、吸引できなくなる場合がありますので、ご注意ください。
- 滅菌・消毒しての再使用はできませんので、新しいフィルターと交換してください。
- 使用頻度や吸引物の性状等により、フィルターの交換時期は異なります。
- 目詰まりを起こした場合にすぐに交換できるように、常に予備用フィルターをご用意をしていただくことをおすすめします。
- アルコール等の溶剤や消毒液を流さないで下さい。（液体が通過してしまう場合があります）

PTFE 吸引フィルターの取付方法

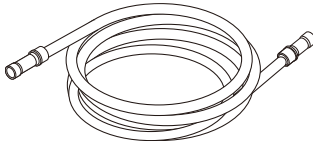
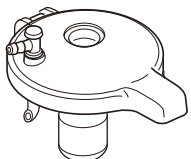
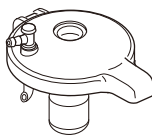
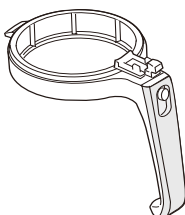
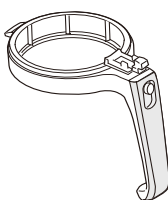
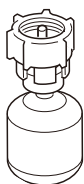
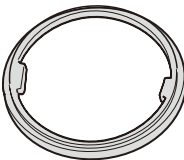
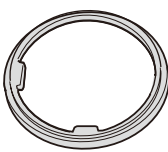

白いパッキンがついている方をボトル頭部にねじりながら、はめ込みます。



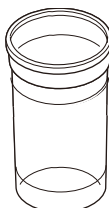

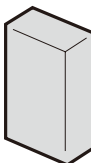
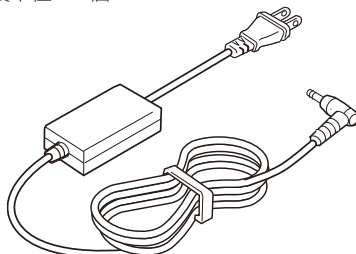
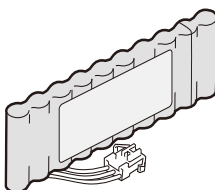


ボトルカバージョイントを取付けます。






2. 交換部品

<p>①吸引ホース (アダプター付) 商品コード：200191082 包装単位：1 個</p> 	<p>②ボトルカバー 一式 1.4L 用 商品コード：200191851 包装単位：1 個</p> 	<p>③ ボトルカバー 一式 1L 用 商品コード：200191850 包装単位：1 個</p>  <p>吸引ボトルの容量によってボトルカバーのサイズが異なります。お手持ちの吸引ボトルの容量をご確認のうえ、間違いのないようにご注文ください。</p>
<p>④ボトルホルダー 1.4L 用 (グリーン) 商品コード：200191853 包装単位：1 個</p>  <p>吸引ボトルの容量によってボトルカバーのサイズが異なります。お手持ちの吸引ボトルの容量をご確認のうえ、間違いのないようにご注文ください。</p>	<p>⑤ボトルホルダー 1L 用 商品コード：200191852 包装単位：1 個</p> 	<p>⑥フロート COMP 商品コード：200191278 包装単位：1 個</p>  <p>※⑨は入っていません。</p>
<p>⑦ ボトルパッキン 1.4L 用 商品コード：200191254 包装単位：1 枚</p>  <p>吸引ボトルの容量によってボトルカバーのサイズが異なります。お手持ちの吸引ボトルの容量をご確認のうえ、間違いのないようにご注文ください。</p>	<p>⑧ボトルパッキン 1L 用 商品コード：200191854 包装単位：1 枚</p> 	<p>⑨フロートストッパー 商品コード：200191280 包装単位：1 個</p> 

<p>⑩吸引ホース口 商品コード：200191858 包装単位：5 個</p> 	<p>⑪ノズル 商品コード：200191859 包装単位：5 個</p> 	<p>⑫フィルター 商品コード：200191256 包装単位：5 個</p> 
<p>⑬吸引ボトル 1L 商品コード：200191864 包装単位：1 個</p> 	<p>⑭吸引ボトル 1.4 L 商品コード：200191264 包装単位：1 個</p> 	<p>⑮排気フィルター 商品コード：200191279 包装単位：5 個</p> 
<p>⑯トラップ管（ホース付） 商品コード：200191855 包装単位：1 個</p> 	<p>⑰ACアダプタ 商品コード：200191866 包装単位：1 個</p> 	
<p>⑱バッテリー 商品コード：200191281 包装単位：1 個</p> 		

お求めの際は、お買い上げの販売店に商品名と商品コード、お求めになりたい数量をお伝えください。

仕様

販 売 名	ミニックⅢ - S		ミニックⅢ - W
認 証 番 号	305ADBZX00015000		305ADBZX00016000
型 式	MS3 B		MW3 B
種 別	機械器具 32 医療用吸引器		
一般的名称 (JMDN コード)	電動式可搬型吸引器 (36616030)		
ク ラ ス 分 類	管理医療機器 (クラスⅡ)		
最 大 吸 引 圧 力	-85kPa		
吸 引 流 量	ノーマルモード	20 L / 分	30 L / 分
	サイレントモード	13 L / 分	20 L / 分
電 源	100V ~ (50-60Hz) 12V  4.1A (自動車用電源使用時)		
消 費 電 力	110VA (50-60Hz)		125VA (50-60Hz)
バ ッ テ リ	Ni-MH(ニッケル水素) 電池 (12V , 1900mAh)		
連 続 使 用 時 間 (A C 電 源 ・ 自 動 車 用 電 源 使 用 時)	6 時間以内 (最小休止時間 15 分以上)		
※ バッテリー作動 時間 (目安)	ノーマルモード	約 60 分	約 40 分
	サイレントモード	約 120 分	約 90 分
電 撃 対 する 保 護 の 形	 = クラスⅡ /  = B 形装着部		
使 用 環 境 条 件	周囲温度 10 から 40℃ 相対湿度 30 から 75%		
保 管 / 輸 送 環 境 条 件	周囲温度 -10 から 60℃ 相対湿度 10 から 75%		
本 体 寸 法 (突起部含まず) (mm)	321(W) × 122(D) × 256(H)		331(W) × 136(D) × 266(H)
質 量	約 3.5kg		約 4.7kg

※ バッテリーを使用した作動時間は、満充電時・ポンプ無負荷状態のものです。
 充分な吸引力を必要とする場合には、表示時間より短い作動時間となります。
 上記性能には自社規格による公差があります。また、上記性能は出荷時のものであり、ご使用期間・頻度等により性能は低下してきます。

EMC 適合

本製品は EMC 規格 (IEC 60601-1-2:2014) に適合しています。ただし、他の医療機器、電子機器との併用において、相互に影響を生じる場合があります。本書ならびに添付文書に従って、正しい取扱いをしてください。

本体 表示



= 交流電流



= 直流電流



= クラス II



= 操作指示に従う



= B 形装着部

廃棄について

本器（付属品・別売品を含む）を廃棄する場合は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。（環境汚染の原因となることがあります）

バッテリーのリサイクルについて

バッテリーに使用しているニッケル水素電池は、リサイクル可能なバッテリーとなっております。リサイクルに関しては、本製品をお買い上げになった販売店にご相談ください。



EMC 技術資料

【ミニックⅢ S/W】は、医用電気機器の安全使用のために要求されている EMC（電磁両立性）規格、IEC 60601-1-2：2014 に適合している装置です。

EMC 規格は、医用電気機器を安全に使用するため、機器から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器（携帯電話等）が発する電磁波から受ける影響を、一定のレベル以下に抑えるよう規定した規格です。本機器は電磁両立性（EMC）に関して、特別な注意が必要であり、本書に記載された EMC 情報に基づいて使用する必要があります。

- ・ 指定した付属品、オプション品以外を使用しないでください。機器の電磁エミッションを増加させるか、又は電磁イミュニティを減少させ、誤動作を引き起こす可能性があります。
- ・ 不適切な動作を引き起こす可能性があるため、他の機器と近接させて又は積み重ねて使用しないでください。
- ・ 携帯電話やスマートフォンなどの携帯型 RF 通信機器（アンテナケーブルや外部アンテナを含む）を 30cm 以内に近づけて使用しないでください。性能の低下が生じる可能性があります。

表 1 - エミッション適用規格および適合性

エミッション試験項目	適用規格	適合性
伝導及び放射 RF エミッション	CISPR 11	グループ 1、クラス B
高調波ひずみ	IEC 61000-3-2	非適用
電圧変動及びフリッカ	IEC 61000-3-3	非適用

表 2 - イミュニティ試験レベル

イミュニティ試験	適用規格	イミュニティ試験レベル
静電気放電	IEC 61000-4-2	± 8kV 接触 ± 2kV、± 4kV、± 8kV、± 15kV 気中 外装ポート
放射 RF 電磁界	IEC 61000-4-3	10V/m 80MHz ~ 2.7GHz 1kHz で 80% AM 外装ポート
RF 無線通信機器からの 近接電磁界	IEC 61000-4-3	表 3 参照
電氣的ファーストラン ジェント / バースト	IEC 61000-4-4	± 2kV 繰返し周波数：100kHz 交流入力電源ポート
サージ ライン - ライン間	IEC 61000-4-5	± 0.5kV、± 1kV 交流入力電源ポート
サージ ライン - 接地間	IEC 61000-4-5	非適用
RF 電磁界によって誘発す る伝導妨害	IEC 61000-4-6	3Vrms 0.15MHz ~ 80MHz 0.15MHz ~ 80MHz の間の ISM 及びアマチュア無線帯域内で 6Vrms 1kHz で 80% AM 交流入力電源ポート
電源周波数磁界	IEC 61000-4-8	30A/m 50Hz 又は 60Hz 外装ポート
電圧ディップ	IEC 61000-4-11	0% U_t 0.5 周期 位相角 0°、45°、90°、135°、180°、225°、270° 及び 315° 交流入力電源ポート
		0% U_t 1 周期及び 70% U_t 25/30 周期 単相 位相角 0° 交流入力電源ポート
短時間停電	IEC 61000-4-11	0% U_t 250/300 周期 交流入力電源ポート
注記： U_t は、検査レベルを加える前の交流電源電圧である。		

表 3 - RF 無線通信機器に対する外装ポートイミュニティ試験仕様

試験周波数 (MHz)	帯域 (MHz)	通信サービス	変調	最大電力 (W)	分離距離 (m)	イミュニティ 試験レベル (V/m)
385	380 ～ 390	TETRA 400	パルス変調 18Hz	1.8	0.3	27
450	430 ～ 470	GMRS 460 FRS 460	周波数変調 ± 5kHz 偏移 1kHz 正弦波	2	0.3	28
710	704 ～ 787	LTE Band 13, 17	パルス変調 217Hz	0.2	0.3	9
745						
780						
810	800 ～ 960	GSM 800/900 TETRA 800 iDEN 820 CDMA 850 LTE Band 5	パルス変調 18Hz	2	0.3	28
870						
930						
1720	1700 ～ 1990	GSM 1800 CDMA 1900 GSM 1900 DECT LTE Band 1, 3, 4, 25 UMTS	パルス変調 217Hz	2	0.3	28
1845						
1970						
2450	2400 ～ 2570	Bluetooth WLAN 802.11 b/g/n RFID 2450 LTE Band 7	パルス変調 217Hz	2	0.3	28
5240	5100 ～ 5800	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 217Hz	0.2	0.3	9
5500						
5785						

アフターサービスについて

保証の内容とご確認

1. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
2. 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取って頂き、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

修理をご依頼されるとき

本器をご購入いただいた販売店に修理依頼の旨と保証書に記入されている製品名・製造番号・お買い上げ日をご連絡ください。



修理を依頼されるときのご注意

1. お客様で自身での修理・分解や改造等をされると、故障原因が判明できないうえ、事故の原因となりますので、修理をお引受けできない場合があります。
2. 本器を点検または修理として戻される場合には、吸引ボトル内の分泌物は必ず捨て消毒または滅菌を行った後にお戻しください。なお、感染症等の恐れがある場合にはお引受けできませんので、あらかじめご了承ください。



耐用期間について

本器の耐用期間は、ご購入後**7年**です（当社データによる自己認証）。ただし、推奨された環境で使用され、本書ならびに添付文書にしたがった「保守・点検」を実施した場合の耐用期間であり、使用状況により差異が生じることがあります。耐用期間を超過した製品の点検・修理につきましてはお断りさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。



補修用部品の最低保有期間について

補修用部品とは、機器の性能・安全性を維持するために必要な部品です。当社は、補修用部品を製造中止後7年間保有しております。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは

お買い上げの販売店又は本書巻末の製造発売元にお問い合わせください。

最適な提案で医療福祉社会に貢献する

発売元



新鋭工業株式会社

本社 〒362-0055 埼玉県上尾市平方領領家308-2

東京支店	〒113-0033	東京都文京区本郷3-12-5	TEL. 03-3816-0444	FAX. 03-3816-0406
大阪支店	〒541-0042	大阪府中央区今橋1-6-1	TEL. 06-6228-3311	FAX. 06-6228-3321
札幌支店	〒060-0907	札幌市東区北七条東4丁目28-3	TEL. 011-741-7752	FAX. 011-753-2703
仙台支店	〒984-0012	仙台市若林区六丁の目中町10-10	TEL. 022-288-4660	FAX. 022-288-4661
新潟支店	〒951-8136	新潟市中央区関屋田町1-1	TEL. 025-233-0592	FAX. 025-233-0573
長野支店	〒390-0835	長野県松本市高宮東5-13	TEL. 0263-24-2840	FAX. 0263-27-3152
名古屋支店	〒466-0023	愛知県名古屋市中昭和区石仏町2-1-40	TEL. 052-859-1333	FAX. 052-859-1334
山陰支店	〒683-0001	鳥取県米子市皆生温泉2-20-27	TEL. 0859-34-5675	FAX. 0859-34-5708
岡山支店	〒700-0982	岡山市北区中島田町1-7-8	TEL. 086-235-0323	FAX. 086-235-0324
広島支店	〒733-0822	広島市西区庚午中4-10-36	TEL. 082-275-0740	FAX. 082-275-0760
福岡支店	〒813-0034	福岡市東区多の津5-11-25	TEL. 092-622-0055	FAX. 092-622-0052
沖縄支店	〒901-2103	沖縄県浦添市仲間1-19-6	TEL. 098-876-4262	FAX. 098-876-6097

アフターサービス・製品について等のお問い合わせ先

上記の各支店にご連絡ください。

<https://www.shinei.me>



製造販売元

株式会社 三幸製作所

〒331-0077 埼玉県さいたま市西区中釘652番地

医療機器製造販売業許可番号 11B1X00012

※製品は改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。



<https://sanko-med.com>